

大学等名	大妻女子大学
プログラム名	大妻データサイエンス・AIプログラム

プログラム変更の概要

- ① 家政学部・文学部・人間関係学部・比較文化学部に於ける対象科目名称の変更
「コンピュータ基礎B」 ⇒ 「情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)」
- ② 社会情報学部社会情報学科における対象科目名称の統一
社会生活情報学専攻・環境情報学専攻:情報処理実習B
情報デザイン専攻:情報処理実習A
} ⇒ 全専攻:情報処理実習A
- ③ データサイエンス学部の新設と対象科目の変更
「情報処理入門」 ⇒ 「コンピュータの基礎」

様式1-1

大学等名	大妻女子大学
プログラム名	大妻データサイエンス・AIプログラム

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違する

② 対象となる学部・学科名称

家政学部・文学部・人間関係学部・比較文化学部

③ 修了要件

次の2科目4単位の単位修得をプログラムの修了要件とする。

全学共通科目:「データサイエンス・AI概論」「コンピュータ基礎B 情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)」

必要最低科目数・単位数 科目 単位 履修必須の有無 令和9年度以降に履修必須とする計画、又は未定

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
データサイエンス・AI概論	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
データサイエンス・AI概論	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
データサイエンス・AI概論	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

⑦「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
データサイエンス・AI概論	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
コンピュータ基礎B	2	○	○	○	○						
情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)											

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容	
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・人間の知的活動とAIの関係性「データサイエンス・AI概論」(第1回) ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方「データサイエンス・AI概論」(第15回)
	1-6	・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「データサイエンス・AI概論」(第1回、第11回、第15回) ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)「データサイエンス・AI概論」(第11回)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「データサイエンス・AI概論」(第2~4回、第8回) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)「データサイエンス・AI概論」(第6回) ・データのオープン化(オープンデータ)「データサイエンス・AI概論」(第5回)
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「データサイエンス・AI概論」(第2回、第7回、第15回) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「データサイエンス・AI概論」(第5回) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「データサイエンス・AI概論」(第4回)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析:予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化など「データサイエンス・AI概論」(第8回~第12回) ・非構造化データ処理:言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など「データサイエンス・AI概論」(第6回、第7回) ・認識技術、ルールベース、自動化技術「データサイエンス・AI概論」(第8回)
	1-5	・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第8回~第12回) ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「データサイエンス・AI概論」(第4回)

(4)活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)「データサイエンス・AI概論」(第13回) 個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「データサイエンス・AI概論」(第11回、第13回) データ倫理:データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「データサイエンス・AI概論」(第13回) AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「データサイエンス・AI概論」(第15回) AIサービスの責任論「データサイエンス・AI概論」(第13回)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ:機密性、完全性、可用性「データサイエンス・AI概論」(第14回) 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報操作「データサイエンス・AI概論」(第14回) 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第14回)
(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> データの種類(量的変数、質的変数)「コンピュータ基礎B 情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)」(第1回) データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「コンピュータ基礎B 情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)」(第3回) 代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)「コンピュータ基礎B 情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)」(第3回)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> データ表現(棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、ヒートマップ)「コンピュータ基礎B 情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)」(第5回～第7回) データの図表表現「コンピュータ基礎B 情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)」(第5回～第7回)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> データの集計(和、平均)「コンピュータ基礎B 情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)」(第3回) データの並び替え、ランキング「コンピュータ基礎B 情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)」(第4回、第7回、第10回～第13回) データ解析ツール(スプレッドシート)「コンピュータ基礎B 情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)」(第1回) 表形式のデータ(csv)「コンピュータ基礎B 情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)」(第1回)

(11) プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- データサイエンスやAIが身近にあるさまざまな事象とどのように関係しているかを学び、それらを活用することの楽しさや学ぶ意義について理解する。
- データサイエンス・AIを活用する上での留意事項や情報セキュリティ、情報漏洩等、データを守る上での留意事項を理解する。
- 社会における実データを含む多くのデータから、必要とする情報を抽出するスキルを身につける。
- 抽出結果を読み解き、それら情報の関係を分析、考察し表現できる力を身につける。

【参考】

(12) 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容

樣式 1-2

大学等名	夫妻女子大学
プログラム名	夫妻データサイエンス・AIプログラム

プログラムを構成する授業科目について

- ① 教育プログラムの修了要件
 - ② 対象となる学部・学科名称

※学部内の履修科目統一により様式1-2は削除
学部・学科によって、修了要件は相違する

社会情報学部社会情報学科社会生活情報学専攻・環境情報学専攻

- ### ③ 修了要件

次の2科目4単位の単位修得をプログラムの修了要件とする。

社会情報学部学部共通科目：「情報処理実習B」

必要最低科目数・単位数 科目 単位 履修必須の有無 令和9年度以降に履修必須とする計画、又は未定

- ④現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている!の内容を含む授業科目

- ⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

- ⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

- ⑦「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上で留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報処理実習B	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容	
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・人間の知的活動とAIの関係性「データサイエンス・AI概論」(第1回) ・データを起点としたものの見方・人間の知的活動を起点としたものの見方「データサイエンス・AI概論」(第15回)
	1-6	・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「データサイエンス・AI概論」(第1回、第11回、第15回) ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)「データサイエンス・AI概論」(第11回)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「データサイエンス・AI概論」(第2～4回、第8回) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)「データサイエンス・AI概論」(第6回) ・データのオープン化(オープンデータ)「データサイエンス・AI概論」(第5回)
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「データサイエンス・AI概論」(第2回、第7回、第15回) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「データサイエンス・AI概論」(第5回) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「データサイエンス・AI概論」(第4回)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析:予測、ダーリビング、パターン発見、最適化、シミュレーション、データ同化など「データサイエンス・AI概論」(第8回～第12回) ・非構造化データ処理:言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など「データサイエンス・AI概論」(第6回、第7回) ・認識技術、ルールベース、自動化技術「データサイエンス・AI概論」(第8回)
	1-5	・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第8回～第12回) ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工・探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「データサイエンス・AI概論」(第4回)

(4)活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> • ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)「データサイエンス・AI概論」(第13回) • 個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「データサイエンス・AI概論」(第11回、第13回) • データ倫理:データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「データサイエンス・AI概論」(第13回) • AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「データサイエンス・AI概論」(第15回) • AIサービスの責任論「データサイエンス・AI概論」(第13回)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> • 情報セキュリティ:機密性、完全性、可用性「データサイエンス・AI概論」(第14回) • 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報操作「データサイエンス・AI概論」(第14回) • 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第14回)
(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> • データの種類(量的変数、質的変数)「情報処理実習B」(第11回、第12回) • データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「情報処理実習B」(第11回、第12回) • 代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)「情報処理実習B」(第11回、第12回) • データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)「情報処理実習B」(第11回、第12回) • クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列「情報処理実習B」(第8回、第9回)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> • データ表現(棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、ヒートマップ)「情報処理実習B」(第5回～第8回) • データの図表表現「情報処理実習B」(第5回～第8回)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> • データの集計(和、平均)「情報処理実習B」(第9回、第10回) • データの並び替え、ランキング「情報処理実習B」(第9回、第10回) • データ解析ツール(スプレッドシート)「情報処理実習B」(第5回) • 表形式のデータ(csv)「情報処理実習B」(第5回)

(11) プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- データサイエンスやAIが身近にあるさまざまな事象とどのように関係しているかを学び、それらを活用することの楽しさや学ぶ意義について理解する。
- データサイエンス・AIを活用する上での留意事項や情報セキュリティ、情報漏洩等、データを守る上での留意事項を理解する。
- 社会における実データを含む多くのデータから、必要とする情報を抽出するスキルを身につける。
- 抽出結果を読み解き、それら情報の関係を分析、考察し表現できる力を身につける。

【参考】

(12) 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容

樣式 1-3

大学等名	大妻女子大学
プログラム名	大妻データサイエンス・AIプログラム

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

② 対象となる学部・学科名称

社会情報学部社会情報学科**情報デザイン専攻**

③ 修了要件

次の2科目4単位の単位修得をプログラムの修了要件とする。

全学共通科目:「データサイエンス・AI概論」

社会情報学部学部共通科目:「情報処理実習A」

必要最低科目数・単位数 2 科目 4 単位 履修必須の有無 令和9年度以降に履修必須とする計画、又は未定

④現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている)の内容を含む授業科目

⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

⑦「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報処理実習A	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容	
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・人間の知的活動とAIの関係性「データサイエンス・AI概論」(第1回) ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方「データサイエンス・AI概論」(第15回)
	1-6	・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「データサイエンス・AI概論」(第1回、第11回、第15回) ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)「データサイエンス・AI概論」(第11回)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「データサイエンス・AI概論」(第2~4回、第8回) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)「データサイエンス・AI概論」(第6回) ・データのオープン化(オープンデータ)「データサイエンス・AI概論」(第5回)
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「データサイエンス・AI概論」(第2回、第7回、第15回) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「データサイエンス・AI概論」(第5回) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「データサイエンス・AI概論」(第4回)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析:予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化など「データサイエンス・AI概論」(第8回~第12回) ・非構造化データ処理:言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など「データサイエンス・AI概論」(第6回、第7回) ・認識技術、ルールベース、自動化技術「データサイエンス・AI概論」(第8回)
	1-5	・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第8回~第12回) ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工・探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「データサイエンス・AI概論」(第4回)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1 <ul style="list-style-type: none"> • ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)「データサイエンス・AI概論」(第13回) • 個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「データサイエンス・AI概論」(第11回、第13回) • データ倫理:データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「データサイエンス・AI概論」(第13回) • AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「データサイエンス・AI概論」(第15回) • AIサービスの責任論「データサイエンス・AI概論」(第13回)
	3-2 <ul style="list-style-type: none"> • 情報セキュリティ:機密性、完全性、可用性「データサイエンス・AI概論」(第14回) • 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取「データサイエンス・AI概論」(第14回) • 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第14回)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1 <ul style="list-style-type: none"> • データの種類(量的変数、質的変数)「情報処理実習A」(第12回、第13回) • データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「情報処理実習A」(第12回、第13回) • 代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)「情報処理実習A」(第12回、第13回) • データのはらつき(分散、標準偏差、偏差値)「情報処理実習A」(第12回、第13回)
	2-2 <ul style="list-style-type: none"> • データ表現(棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、ヒートマップ)「情報処理実習A」(第10回、第11回) • データの図表表現「情報処理実習A」(第10回、第11回)
	2-3 <ul style="list-style-type: none"> • データの集計(和、平均)「情報処理実習A」(第8回、第9回) • データの並び替え、ランキング「情報処理実習A」((第8回、第9回)) • データ解析ツール(スプレッドシート)「情報処理実習A」(第8回) • 表形式のデータ(csv)「情報処理実習A」(第8回)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- データサイエンスやAIが身近にあるさまざまな事象とどのように関係しているかを学び、それらを活用することの楽しさや学ぶ意義について理解する。
- データサイエンス・AIを活用する上での留意事項や情報セキュリティ、情報漏洩等、データを守る上での留意事項を理解する。
- 社会における実データを含む多くのデータから、必要とする情報を抽出するスキルを身につける。
- 抽出結果を読み解き、それら情報の関係を分析、考察し表現できる力を身につける。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容

大学等名	大妻女子大学
プログラム名	大妻データサイエンス・AIプログラム

プログラムを構成する授業科目について

- ① 教育プログラムの修了要件
 - ② 対象となる学部・学科名称

※学部新設に伴い、様式1-4を追加

学部・学科によって、修了要件は相違する

データサイエンス学部データサイエンス学科

- ### ③ 修了要件

次の2科目4単位の単位修得をプログラムの修了要件とする。

全学共通科目:「データサイエンス・AI概論」

全学共通科目「データサイエンス AI概論」
データサイエンス学科専門教育科目：「コンピュータの基礎」

必要最低科目数・単位数

- ④現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている!の内容を含む授業科目

- ⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

- ⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

- ⑦「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
コンピュータの基礎	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容	
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・人間の知的活動とAIの関係性「データサイエンス・AI概論」(第1回) ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方「データサイエンス・AI概論」(第15回)
	1-6	・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「データサイエンス・AI概論」(第1回、第11回、第15回) ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)「データサイエンス・AI概論」(第11回)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「データサイエンス・AI概論」(第2~4回、第8回) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)「データサイエンス・AI概論」(第6回) ・データのオープン化(オープンデータ)「データサイエンス・AI概論」(第5回)
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「データサイエンス・AI概論」(第2回、第7回、第15回) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「データサイエンス・AI概論」(第5回) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「データサイエンス・AI概論」(第4回)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析:予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化など「データサイエンス・AI概論」(第8回~第12回) ・非構造化データ処理:言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など「データサイエンス・AI概論」(第6回、第7回) ・認識技術、ルールベース、自動化技術「データサイエンス・AI概論」(第8回)
	1-5	・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第8回~第12回) ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「データサイエンス・AI概論」(第4回)

(4)活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> • ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)「データサイエンス・AI概論」(第13回) • 個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「データサイエンス・AI概論」(第11回、第13回) • データ倫理:データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「データサイエンス・AI概論」(第13回) • AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「データサイエンス・AI概論」(第15回) • AIサービスの責任論「データサイエンス・AI概論」(第13回)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> • 情報セキュリティ:機密性、完全性、可用性「データサイエンス・AI概論」(第14回) • 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取「データサイエンス・AI概論」(第14回) • 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「データサイエンス・AI概論」(第14回)
(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> • データの種類(量的変数、質的変数)「コンピュータの基礎」(第6回、第10回) • データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「コンピュータの基礎」(第7回、第8回) • 代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)「コンピュータの基礎」(第7回、第8回、第10回) • データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)「コンピュータの基礎」(第8回、第10回) • 観測データに含まれる誤差の扱い「コンピュータの基礎」(第10回) • 打ち切りや脱落を含むデータ、層別の必要なデータ「コンピュータの基礎」(第10回)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> • データ表現(棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、ヒートマップ)「コンピュータの基礎」(第7回) • データの図表表現(チャート化)「コンピュータの基礎」(第7回) • データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト)「コンピュータの基礎」(第10回) • 不適切なグラフ表現(チャートジャンク、不必要的視覚的要素)「コンピュータの基礎」(第7回)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> • データの集計(和、平均)「コンピュータの基礎」(第6回、第8回) • データの並び替え、ランキング「コンピュータの基礎」(第6回、第8回) • データ解析ツール(スプレッドシート)「コンピュータの基礎」(第6回、第7回) • 表形式のデータ(csv)「コンピュータの基礎」(第6回、第10回)

(11) プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- データサイエンスやAIが身近にあるさまざまな事象とどのように関係しているかを学び、それらを活用することの楽しさや学ぶ意義について理解する。
- データサイエンス・AIを活用する上での留意事項や情報セキュリティ、情報漏洩等、データを守る上での留意事項を理解する。
- 社会における実データを含む多くのデータから、必要とする情報を抽出するスキルを身につける。
- 抽出結果を読み解き、それら情報の関係を分析、考察し表現できる力を身につける。

【参考】

(12) 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容

プログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度 令和5 年度

②大学等全体の男女別学生数 男性 0 人 女性 6650 人 (合計 6650 人)

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度		履修者数合計	履修率
				履修者数	修了者数	履修者数	修了者数										
家政学部	2,072	490	1998	13	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	1%
文学部	1,512	360	1482	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0%
社会情報学部	1,259	300	1230	87	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	7%
人間関係学部	1,111	260	1060	19	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	2%
比較文化学部	696	165	670	12	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2%
																0	
																0	
																0	
																0	
																0	
																0	
																0	
																0	
																0	
																0	
																0	
																0	
																0	
																0	
合 計	6,650	1,575	6,440	132	113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132	2%

大学等名 大妻女子大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 239 人 (非常勤) 499 人

② プログラムの授業を教えている教員数 23 人

③ プログラムの運営責任者

(責任者名) 山倉 健嗣 (役職名) 副学長(教育担当)

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

情報リテラシー教育検討部会

(責任者名) 山倉 健嗣 (役職名) 部会長

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

情報リテラシー教育検討部会内規

⑥ 体制の目的

部会は、大妻女子大学全学共通科目調整委員会(以下「調整委員会」という。)の運営方針に基づき、次の各号に掲げる事項に関する業務を行う。

- (1) 全学共通科目の基礎科目区分Ⅱリテラシーのうち、情報リテラシー科目の企画・運営・人事等に関する事項
- (2) 大妻データサイエンス・AIプログラムの自己点検・評価および改善に関する事項
- (3) 部会内規の改廃に関する事項
- (4) その他、調整委員会委員長からの依頼事項

⑦ 具体的な構成員

部会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

(1) 調整委員会委員長の指名する専任教員 若干名

・山倉 健嗣 全学共通科目調整委員会委員長・副学長(教育担当)／部会長

・市川 博 家政学部ライフデザイン学科教授

・小野 茂 社会情報学部社会情報学科教授

・八城 薫 人間関係学部人間関係学科教授

・豊田 雄彦 短期大学部家政科教授

(2) 安倍 達哉 教育支援センター部長

(3) 西田 裕貴 教育支援グループ課長

(4) 楢渕 富士子 メディア教育開発グループ課長

(5) その他部会長の推薦する者 若干名

R5は推薦者なし。

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画

※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和5年度実績	2%	令和6年度予定	2%	令和7年度予定	3%
令和8年度予定	4%	令和9年度予定	5%	収容定員(名)	6,440

具体的な計画

プログラムの科目はすべて配当年次が1年次のため、入学前に配付する冊子『新入生案内』に大妻データサイエンス・AIプログラムの案内を掲載するとともに、4月の履修登録時に行われるクラス別ガイダンスにおいても、クラス指導主任から『履修登録の手引き』を通して、このプログラムを履修することの利点を説明している。また、プログラム修了者アンケートの結果は、HPで公表し、プログラム履修への意欲向上を図っている。

さらに本プログラムの修了者には修了証をオープンバッジで発行し、学習歴のデジタル化にも対応している。その他、プログラムに関する科目のうち、共通科目である「データサイエンス・AI概論」は、後期のオンデマンド科目として配置することで、前期履修登録の結果、上限人数に満たないコマについては後期履修登録の機会を設けることを可能としている。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

本プログラムの科目は、家政学部、文学部、人間関係学部、比較文化学部は全学共通科目2科目（「データサイエンス・AI概論」「コンピュータ基礎B」）で構成している。社会情報学部社会情報学科社会生活情報学専攻、環境情報学専攻は全学共通科目「データサイエンス・AI概論」、専門教育科目の必修科目「情報処理実習B」の2科目で構成されており、社会情報学科情報デザイン専攻は全学共通科目「データサイエンス・AI概論」、専門教育科目の必修科目「情報処理実習A」の2科目で構成され、ている。このとおり、希望する学生全員が受講可能となっている。

また、プログラムを進化・改善する組織である情報リテラシー教育検討部会は、全学共通科目の教育課程の運営・管理を所掌している全学共通科目調整委員会の部会に位置付けられており、各学部教授会には当該委員会委員を通じて情報共有が行われており、全学的な連携体制が整っている。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

できる限り多くの学生が履修できるよう、次のような取り組みを行っている。

- ・新入生発送資料やガイダンス配付資料を活用し周知するとともに、1年次全員にポータルサイト(UNIPA)から周知をしている。
- ・ホームページに特設ページを設け、学修成果や後輩等他の学生への推奨度を確認するアンケートなどの結果を積極的に公開している。
- ・プログラムの共通科目である「データサイエンス・AI概論」は、複数学部の教員が担当することで特定の学部に偏らない内容になるよう工夫している。
- ・前期教務委員会において、後期履修登録、他キャンパス履修、単位互換の日時や手続き方法を教職員で共有しており、上限に達していないプログラム科目について追加登録をするよう促している。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

- できる限り多くの学生が履修・修得できるように次のようなサポート体制をとっている。
- ・プログラムの共通科目である「データサイエンス・AI概論」は、オンデマンド授業で実施しており、学生の理解度によって、繰り返し視聴可能としている。
 - ・「データサイエンス・AI概論」は複数学部の教員が担当することで、多様な学生からの質問にも柔軟な対応が可能となっている。
 - ・プログラム上、パソコンを使用する演習科目「コンピュータ基礎B」「情報処理実習A」「情報処理実習B」は、「データサイエンス・AI概論」と異なり、対面形式で実施し、パソコンの習熟度によって担当教員やTAがサポートする体制を整えている。
 - ・PCの利用やネットワーク接続等に関する質問については、専門部署が学生対応をしている。
 - ・学内全域で無線LANを整備し、BYODに対応している。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

- 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける仕組みとして、次のようなものを設けている。
- ・プログラムを構成する科目を担当する専任教員は、オフィスアワーを活用し、学習指導や質問を受け付けている。
 - ・その他、manaba(学修支援システム)のスレッド機能を活用し、いつでも質問を受け付ける仕組みを設けており、他の学生が質問した内容とその答えをすべての履修者が閲覧可能な状態としている。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

情報リテラシー教育検討部会

(責任者名) 山倉 健嗣

(役職名) 部会長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	情報リテラシー教育検討部会は、大妻データサイエンス・AIプログラムの履修・修得状況を調査の上、プログラムに関する自己点検・評価報告書に掲載し公表する。
学修成果	情報リテラシー教育検討部会は、当該部会が実施する「大妻データサイエンス・AIプログラム修了者アンケート」において、プログラムを構成する科目の到達目標に達したか確認し、自己点検・評価報告書に掲載し公表する。また、大妻データサイエンス・AIプログラムの共通科目である「データサイエンス・AI概論」の成績分布を調査し、本教育プログラムの評価・改善に活用している。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	学生の内容の理解度については、大学が組織的に実施している「授業改善のためのアンケート」にある設問9「この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか」、設問10「あなたは授業に満足しましたか」において確認し、本教育プログラムの評価・改善に活用している。その結果は、情報リテラシー教育検討部会でも情報共有されるとともに、自己点検・評価報告書に記載し公表する。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	後輩等他の学生への推奨度は、情報リテラシー教育検討部会が実施する「大妻データサイエンス・AIプログラム修了者アンケート」において、「友だちや後輩に受講を検討している人がいたら、プログラムをお勧めすることができますか」という設問を設け確認し、本教育プログラムの評価・改善に活用している。その他、同アンケートでは「プログラムについての感想や、改善してほしい点等があれば記入してください」という自由記述設問も設け、学生視点の改善点も確認している。 なお、これらの結果については、本学ホームページで公表するとともに、自己点検・評価報告書にも記載する。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	全学的な履修者数、履修率については、毎年情報リテラシー教育検討部会において共有し、現在行っている計画の効果を点検する。また、履修希望者の経年変化を踏まえ、希望者数が計画通り増加した場合は、他の情報リテラシー科目の開講コマ数と調整の上、増コマすることを全学共通科目調整委員会(全学共通科目のコマ数を審議する委員会)に提案する。 なお、本プログラムは令和5年度入学生から履修可能となったプログラムであり、令和5年度は1年生のみが対象だった。令和6年度以降は、対象者が1学年ずつ増えるため、履修者や修了者も増えていくことが見込まれる。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	本プログラムは令和5年度入学生から履修可能となったプログラムのため、初年度修了者の卒業は令和8年度末になる。そのため、令和9年度以降に修了者の進路、活躍状況等を確認していくこととなる。
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	本学が提携や協力をお願いしている企業等産業界から、教育プログラムの内容や手法等への意見を聴取する機会を年に1回設けている。その意見は整理した上で自己点検・評価報告書に記載し公表する。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	プログラムの共通科目である「データサイエンス・AI概論」では、授業のガイダンスとして、初回授業の前にプレ授業を設け、「学ぶことの楽しさ」「学ぶことの意義」を説明している。 また、複数学部の教員がオムニバスで担当することにより、学生自身の今後の学修と関係のある内容も含めることでデータサイエンスやAIについて「学ぶことの意義」を伝える工夫をしている。 さらに担当教員がシラバスを執筆する際に参考とする『授業概要』では、データサイエンス・AIを活用することの「楽しさ」や「学ぶことの意義」に重きを置くことを記した。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	本学では、情報リテラシー教育検討部会において、各種アンケート調査、成績分布などを参考に自己点検・評価を行うとともに、データサイエンス分野に関する協定を締結した企業との意見交換を年に1回行い、社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえた教育内容の見直しを行っている。

令和7年度

科目区分	全学共通科目	授業形態・方法	講義(オンデマンド)
科目名	データサイエンス・AI概論		
配当年次	1年	単位数	2単位
担当教員	山倉 健嗣、市川 博、小野 茂、小野 陽子、清原 康介、富浦 英一、豊田 雄彦、中川 まり、本田周二、本田 新九郎、八城 薫、広瀬 啓雄		
授業の概要・ねらい	<p>Society5.0 の時代において、数理・データサイエンス・AI の素養を持った人材が求められています。一方、数理やデータサイエンス、AI と聞くと難しそうに感じる人もいると思います。そのため、この授業ではこれらを活用することの「楽しさ」や「学ぶことの意義」に重きを置きます。</p> <p>主に「AI やデータサイエンスが社会にもたらす価値」と「デジタル技術が行き渡る社会における課題」をテーマとして、本学の教員を中心に、具体例や最新動向等を織り込みながら、データサイエンスが様々な事象にどう関与しているかという“ストーリー”を理解してもらいます。さらにデータ利活用におけるリスクや留意事項についても学びます。</p> <p>なお、この科目は文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」で求められる内容と、推奨される教育方法に基づいた授業を予定しています。</p>		
到達目標	<p>次の2点を到達目標にします。</p> <p>1.データサイエンスやAIが身近にある様々な事象とどのように関与しているかを学び、それらを活用することの「楽しさ」や「学ぶことの意義」について理解すること。</p> <p>2.データサイエンス・AIの利活用における留意事項や情報セキュリティ、情報漏洩等、データを守る上での留意事項について理解すること。</p>		
授業内容とスケジュール			
1回	<p>私たちが日常暮らす経済では、企業がデータを蓄積し活用するケースが広がっています。こうした実例の紹介を交えつつ、データサイエンスを用いたデータ分析の重要性や、データを分析するに当たって経済の仕組みを理解することの意義を説明します。また、データを活用したビジネスがもたらすメリットと課題についても考えてみます。</p> <p>【学修項目】1-1.社会で起きている変化 【講師】富浦英一（データサイエンス学部データサイエンス学科）</p>		
2回	<p>現在の社会環境では、急速にAIの活用が進んでいます。また意識しないうちに私たちの日常的な経験を方向付ける原理として機能しつつあります。この回では、企業の現場ではどのような使い方をされているか、そしてそれが一般消費者の方々にどのように提供されているのか、実例紹介を通じて今後の在り方を考えていきます。また具体的に企業でサービスを提供するまでのプロセスについても実例を紹介します。</p> <p>【学修項目】1-1.社会で起きている変化／1-6.データ・AI利活用の最新動向 【講師】吉井涉（外部講師：東日本旅客鉄道株式会社）</p>		
3回	<p>インターネット上には、SNSへの投稿や検索キーワードなどの莫大なデータが蓄積されていますが、近年、様々な領域において、これらのデータを用いて社会を捉え、社会に存在する課題を解決するための研究が行われています。本授業では、具体的な研究事例を紹介しながら、データサイエンスの可能性について説明します。</p> <p>【学修項目】1-2.社会で活用されているデータ／1-3.データ・AIの活用領域 【講師】本田周二（人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻）</p>		
4回	<p>インターネット上には大量のデジタルデータが存在し、APIによりダウンロードおよび分析可能な状態で提供されているものもある。アメリカでSNSの情報がきっかけで株の相場が乱高下した事例も記憶に新しい。SNSの情報と株式相場の因果関係を分析した研究事例を概説したのち、自治体オープンデータの存在やそれぞれのデータとしての特性、分析法・分析ツールの例、活用事例を示し、社会でビッグデータやAIが広く活用されていることを紹介する。</p> <p>【学修項目】1-2.社会で活用されているデータ/1-3.データ・AIの活用領域 【講師】広瀬 啓雄（データサイエンス学部非常勤講師）</p>		

5回	<p>わが国では、全ての健康保険組合は、加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組が求められています。データヘルス計画は、健診・レセプト情報等のデータ分析に基づき、保健事業をPDCAサイクルで効果的・効率的に実施するための事業計画です。本講義では、データヘルス計画を取り扱う健診・レセプト情報の概要について解説します。</p> <p>【学修項目】1-2.社会で活用されているデータ／1-3.データ・AIの活用領域</p> <p>【講師】清原康介（家政学部食物学科）</p>
6回	<p>現代社会では、様々なデータが企業や公共領域で分析され、広く活用されています。例えば私たちがコンビニエンスストアで買い物をした際にも購買情報はデータとして蓄積され、企業がマーケティングデータとして活用しています。公共領域でも国は統計調査を通じて国民の実態を把握し、社会の課題解決に向けてデータを活用します。この授業では企業や公共領域においてどのようなデータが利活用され、役立っているのかについて学びます。</p> <p>【学修項目】1-2.社会で活用されているデータ／1-3.データ・AIの活用領域</p> <p>【講師】中川まり（家政学部ライフデザイン学科）</p>
7回	<p>データといえば従来は数値が分析の対象でしたが、インターネットの普及も含めて情報技術の進展によりテキストデータ（文章）の分析も可能になってきました。この授業ではテキストマイニングの基礎を学習し、その方法論、活用状況を学びます。</p> <p>【学修項目】1-2.社会で活用されているデータ／1-4.データ・AI利活用のための技術</p> <p>【講師】豊田雄彦（短期大学部家政科生活総合ビジネス専攻）</p>
8回	<p>クリエイティブな世界にもAIの活躍する場面が広がってきています。ここでは音楽とAIの関係について触れ、AIによる作曲、作詞、編曲、従来は不可能だった音源分離（同時に録音されている楽器の音などを分離する）などについて、Google Colaboratoryという実行環境で実際に触れてみます。</p> <p>【学修項目】1-3.データ・AIの活用領域／1-4.データ・AI利活用のための技術</p> <p>【講師】豊田雄彦（短期大学部家政科生活総合ビジネス専攻）</p>
9回	<p>私たちは日常生活において電化製品や自動車など様々な工業製品を使っています。それらの製品を消費者が安心して使用するためには、製造段階での品質や安全性の確保が重要になります。そのために、モノ作りにおいては様々なデータが活用されています。モノ作りにおけるデータ利活用について現場のデータ収集、分析方法など具体的な事例をあげ説明します。</p> <p>【学修項目】1-4.データ・AI利活用のための技術／1-5.データ・AI利活用の現場</p> <p>【講師】市川博（大妻女子大学 学長）</p>
10回	<p>大量のデータが収集・解析できるようになっていますが、社会事象は実験で得られる事象と異なり、恣意性が内在しているため、要因を完全に制御できません。そのため事象を生み出す因果関係を推定し、その結果を適切に解釈するには社会事象の分析に適した手法を採用する必要があります。講義では、統計的因果推論の観点から、社会科学で使われる代表的なデータ分析の手法を事例を用いて解説します。</p> <p>【学修項目】1-4.データ・AI利活用のための技術／1-5.データ・AI利活用の現場</p> <p>【講師】小野茂（社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻）</p>
11回	<p>情報通信技術の発展により、膨大で多種・多様なデジタルデータ（ビッグデータ）が生成・流通・蓄積されるようになっています。しかし、その多くは文書・画像・音声・センサー記録などの非構造化データです。非構造化データから規則性を抽出する手法としてAI技術が注目されています。講義ではAI技術の中でも深層学習（ディープラーニング）と呼ばれる技法の技術的基礎と、その応用事例について簡単に紹介します。応用例では画像分類モデル(AlexNet, ResNet), 画像生成モデル(Diffusion Model), 大規模言語モデル(Transformer: BERT, GPT)の原理の概要について解説します。</p> <p>【学修項目】1-4.データ・AI利活用のための技術／1-5.データ・AI利活用の現場</p> <p>【講師】小野茂（社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻）</p>

12回	<p>AIは私たちの生活に深く浸透し、その存在を意識するかしないかに関わらず、様々な場面で活用されています。本講義では、皆様の普段の生活シーンにおける身近な事例を通じて、それぞれの場面で使われているAIの種類とその基盤技術について解説します。また、最新の技術動向を踏まえながら、AI活用の将来的な可能性についても考察していきます。</p> <p>【学修項目】1-1.社会で起きている変化／1-6.データ・AI利活用の最新動向 【講師】本田 新九郎（データサイエンス学部データサイエンス学科）</p>
13回	<p>データをうまく利活用できるかは、サンプリングの方法、分析データの収集方法、データの扱い方、分析結果の見せ方、解釈側の認知や意図などの影響を受けます。講義では、どのように収集されているデータかを知ることの大切さ（サンプルの偏り、データの偏り）、結果の見せ方テクニック（データに騙されない知識）、結果の解釈における人間側の問題（認知バイアス）について、体験と事例を用いて解説します。</p> <p>【学修項目】1-4.データ・AI利活用のための技術／1-5.データ・AI利活用の現場 【講師】八城薫（人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻）</p>
14回	<p>本講義では、データ・AIを扱う上での留意事項を倫理という観点から学びます。新技術を社会で実用化する過程で生じる技術以外の課題(ELSI)や個人情報保護といった、DS以前からあるデータに関する事柄にとどまらず、DS技術により提供されるサービスの責任など、社会におけるDS技術の展開とその影響についても解説します。特に、生成AIとその社会への影響を検討します。</p> <p>【学修項目】3-1.データ・AIを扱う上での留意事項 【講師】小野陽子（データサイエンス学部データサイエンス学科）</p>
15回	<p>本講義では、データを守る上での留意事項を倫理という観点から学びます。情報セキュリティ(機密性、完全性、可用性)や匿名加工情報、悪意ある情報擷取について説明した上で、情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例について解説します。また、XR(クロスリアリティ)やメタバース、生成AIを用いたシステムにおける倫理的問題について検討します。</p> <p>【学修項目】3-2.データを守るうえでの留意事項 【講師】小野陽子（データサイエンス学部データサイエンス学科）</p>
コメント	<p><プレ授業を実施します> 第1回を開講する前に、15分程度の動画を配信しますので、必ず視聴してください。 データサイエンスやAIを活用することの「楽しさ」や「学ぶことの意義」など、本科目の講義全体の狙いについて解説します。 【解説】山倉健嗣（副学長）</p>
授業時間外の学習（予習・復習等）	<p>講義内容を整理し復習した上で、課題に取り組むこと。 そのほか、授業で得た知識、知見をもとに、データサイエンス・AIについての認識の幅を広げ、さらなる学習を進めてください。</p>
成績評価の方法及び基準	<p>各回の課題の成績による総合評価：100% *上記の評価とは別に2/3以上出席していない場合は単位を認定しない。</p>
課題に対するフィードバックの方法	manabaを利用してフィードバックを行う。
質問などの受付	manaba掲示板（スレッド）にて受け付けます。

科目区分	全学共通科目	授業形態・方法	演習
科目名	情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)		
配当年次	1年	単位数	2単位
担当教員	池田 靖雄／小幡 正子／加藤 浩治／白井 貴子／鈴木 かおり／西川 徹／中村 知子／土屋 健		
授業の概要・ねらい	<p>当科目は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」で求められる内容と、推奨される教育方法に基づいた授業である。</p> <p>パソコンの基本操作（文字入力、保存、印刷など）ができる学生を対象として、表計算ソフトを使ったデータ処理の方法を演習する。ICT（Information and Communication Technology）が進展し、情報が低コストで、時間差なく収集することができるようになってきている。また、処理しきれない量の情報が氾濫している時代でもある。このような中、本当に必要な情報を取捨選択し、意思決定に生かしていくことが求められている。</p> <p>本科目では、多くのデータ（社会における実データを含む）から、我々が必要とする情報を抽出すること、また、その抽出結果を読み解き、それらの情報の関係を分析、考察し、表現することを目的とする。その一連の中でExcelの基礎からグラフ、データベース、応用的な関数の使い方を演習する。[数理・データサイエンス・AI リテラシーレベルのモデルカリキュラム：基礎2-1, 2-2, 2-3]</p>		
到達目標	<p>Excelの基本から応用操作を学び、実務に活用できるようになる。</p> <p>実務で必要となるデータ分析の考え方を学び、自ら計算式をたてられるようになる。</p> <p>実務に即した効率的な操作ができるようになる。</p>		
授業内容とスケジュール			
1回	<p>ガイダンス、授業の概要説明。</p> <p>表計算ソフト(Excel)の基本操作、ブックとシートの操作、効率的なデータの入力方法、データの種類。</p> <p>〔データの種類（量的変数、質的変数）〕 〔データ解析ツール（スプレッドシート）〕</p> <p>〔表形式のデータ（csv）〕</p>		
2回	<p>表の作成と編集、セルの書式設定、日付と時刻の編集、計算式の考え方、</p> <p>印刷処理（ページ設定、ヘッダーとフッター、拡大縮小設定） 等</p>		
3回	<p>基本的な関数の使い方（合計、平均、最大、最小、データ件数）、表示形式の設定、データの分布、代表値の性質の違い 等</p> <p>端数処理（四捨五入、切り上げ、切り捨て、整数化）等</p> <p>〔データの分布（ヒストグラム）と代表値（平均値、中央値、最頻値）〕</p> <p>〔代表値の性質の違い（実社会では平均値=最頻値でないことが多い）〕</p> <p>〔データの集計（和、平均）〕</p>		
4回	<p>相対参照と絶対参照</p> <p>ビジネスで役立つ計算式の考え方、順位付け関数、簡単なIF関数</p> <p>〔データの並び替え、ランキング〕</p>		
5回	<p>グラフの作成（1）</p> <p>グラフの種類と目的、基本的なグラフの作成と編集</p> <p>〔データ表現（棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、ヒートマップ）〕 〔データの図表表現〕</p>		
6回	<p>グラフの作成（2）</p> <p>用途に合った様々なグラフの作成、複合グラフの作成と編集</p> <p>〔データ表現（棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、ヒートマップ）〕 〔データの図表表現〕</p>		
7回	<p>データベースの基本操作</p> <p>並べ替え、データの抽出、オートフィルターとフィルターオプション</p> <p>〔データ表現（棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、ヒートマップ）〕 〔データの図表表現〕</p> <p>〔データの並び替え、ランキング〕</p>		
8回	<p>データベース2</p> <p>集計処理、複数シートの操作と作業グループ、3D演算（串刺し演算）</p>		
9回	<p>データベース3</p> <p>データのインポートとエクスポート、テーブル機能、ピボットテーブル（クロス集計表・度数分布表）とピボットグラフ</p>		

10回	関数の応用 (1) IF関数、IF関数の入れ子操作、AND関数、OR関数、RANK関数 [データの並び替え、ランキング]
11回	関数の応用 (2) 検索、行列関数(VLOOKUP,HLOOKUP関数 等)、エラー処理 (ISERROR関数 等) [データの並び替え、ランキング]
12回	関数の応用 (3) 文字列の操作(LEFT関数、RIGHT関数、FIND関数、LEN関数、REPLACE関数、TRIM関数 等)
13回	関数の応用 (4) データベース関数、集計処理関数 [データの並び替え、ランキング]
14回	総合演習 (1) まとめ
15回	総合演習 (2) まとめ
コメント	スケジュールについては、担当教員によって異なる場合がある。
授業時間外の学習（予習・復習等）	テキストを事前に予習したうえで、授業に臨むこと。 授業で提示された課題が時間内に完成できなかった場合は、次回の授業開始前までに必ず完成させ、manabaに提出すること。 授業でよく理解できなかった事項は、まずテキストを復習し、自分で考え学ぶ習慣を身につける。 さらに理解できないことは、積極的に質問をし、早い時点で問題点を解決すること。
成績評価の方法及び基準	授業参画度10%、課題50%、確認テスト（総合演習）40%
課題に対するフィードバックの方法	manabaを利用してフィードバックを行う。／授業内で適宜コメントやアドバイスを行う。
質問などの受付	授業中、演習中に随時対応する。また、授業後、教室にて受け付ける。 授業外学習での質問は、manabaにて受け付ける。

科目区分	社会情報学部共通科目	授業形態・方法	実習
科目名	情報処理実習A		
配当年次	1年	単位数	2単位
担当教員	服部 恵典／魚住 知広／鈴木 優志／亀田 弘之／齋藤 雅代		
授業の概要・ねらい	<p>この授業では、現代社会で身につけるべき情報活用能力の基本を身につけることを目的として、次の3つのソフトウェアを主体的に使いこなせるようになることを目指します。</p> <p>①文字・数値・画像情報を扱う文書作成ソフト：Word ②表計算ソフト：Excel ③発表用ソフト：Power point</p> <p>例えばExcelにおいては多くのデータ（社会における実データを含む）から必要な情報を抽出する事、またその抽出結果を読み解いてそれらの情報の関係を分析・考察できるようになる事を目指します。</p> <p>これらのソフトを主体的に活用するための実用的な知識と技能を実習形式によって身につけていきます。</p> <p>実用的な知識と技能の習得に加えて、変化していく情報技術に対応して自ら調べて対処するリテラシーを養うことも目指します。</p> <p>なお、履修者の情報活用能力の習熟度をみて、学習内容・進度を調整していきます。</p>		
到達目標	<p>この授業では、自ら課題を考えてやってみることを通じて、以下の技術の基本を習得することを到達目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■パソコンでのインターネット検索・電子メールのやりとり ■Wordによる文書作成の基本操作 ■Excelによる表計算・グラフ作成の基本操作 ■PowerPointによるプレゼンテーション作成の基本操作 		
授業内容とスケジュール			
1回目	コンピュータの基本知識と操作：実習前の諸注意、設備の使い方、OSの操作、キーボード操作他		
2回目	文書作成ソフト・Wordによる文書作成1：文字入力、ファイル保存・読み込み、ネットの利用など		
3回目	Wordによる文書作成2：ページ設定、文字設定、書式練習など		
4回目	Wordによる文書作成3：段落番号、アウトライン、脚注、目次機能など		
5回目	Wordによる文書作成4：文書作成中間課題		
6回目	Wordによる文書作成5：表・写真・図の挿入、様々な図形の作成など		
7回目	Wordによる文書作成6：文書作成総合課題		
8回目	表計算ソフト・Excelによる数値処理1：表計算ソフトの基本操作、計算式の入力など [データの集計（和、平均）] [データの並び替え、ランキング] [データ解析ツール（スプレッドシート）] [表形式のデータ（csv）]		
9回目	表計算ソフトによる数値処理2：絶対・相対参照の活用、関数の利用など [データの集計（和、平均）] [データの並び替え、ランキング]		
10回目	Excelによる数値処理3：グラフの利用など [データ表現（棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、ヒートマップ）] [データの図表表現（チャート化）]		
11回目	Excelによる数値処理4：表計算中間総合課題（表集計、グラフ、印刷） [データ表現（棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、ヒートマップ）] [データの図表表現（チャート化）]		
12回目	Excelによるデータの分析1：データの特徴、ばらつき [データの種類（量的変数、質的変数）] [データの分布（ヒストグラム）と代表値（平均値、中央値、最頻値）] [代表値の性質の違い（実社会では平均値=最値でないことが多い）] [データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）]		

13回目	Excelによるデータの分析 2：さまざまなデータ（公的データなど）の利用など [データの種類（量的変数、質的変数）] [データの分布（ヒストグラム）と代表値（平均値、中央値、最頻値）] [代表値の性質の違い（実社会では平均値=最頻値でないことが多い）] [データのはらつき（分散、標準偏差、偏差値）]
14回目	プレゼンテーションソフト・PowerPointによるスライド作成 1：スライド作成の基本など
15回目	PowerPointによるスライド作成 2：オブジェクト挿入、アニメ設定など、プレゼン総合課題
コメント	各授業では、提示された課題を各自、解説・教科書・プリントを頼りに、用意されたサンプル例（ファイル）を目標に作成し、ファイル（一部印刷）の提出を行います。演習・実習ですので自力で行うことが重要ですが、必要に応じて回りの人と意見交換をして進めます。
授業時間外の学習（予習・復習等）	授業の事前事後には、週4時間程度を目安として、授業でやった課題をスムーズにできるように復習（70%程度）するとともに、次授業の課題について予習をしてください。
成績評価の方法及び基準	課題提出（80%）、授業への取り組み姿勢（20%）で評価します。
課題に対するフィードバックの方法	manabaを利用してフィードバックを行う。／課題やレポートにコメントをつけて返却する。／授業内で適宜コメントやアドバイスを行う。
質問などの受付	授業後に教室にて受け付けます。manabaにて受け付けます。また、個別質問用のメールアドレス等を授業開始後に伝達します。

令和7年度

科目区分	データサイエンス学科専門教育科目	授業形態・方法	演習		
科目名	コンピュータの基礎				
配当年次	1年	単位数	2単位		
担当教員	広瀬 啓雄／本田 新九郎				
授業の概要・ねらい		<p>当科目は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」で求められる内容と、推奨される教育方法に基づいた授業である。</p> <p>この授業では、情報処理の基本概念と実践的なスキルを習得するための入門的な科目である。コンピュータのハードウェアとソフトウェアの基本的な理解や、ネットワーク、セキュリティなどの基本的な知識の習得、また文書作成、テーブル作成、データ入力、基本的な計算、グラフ作成、プレゼンテーション作成といった、コンピュータを活用するための基本的なスキルについて習得する。学生生活のみならず、就職活動、社会人生活にて活用できるリテラシーの向上を狙いとする。</p> <p>この一連の流れ中で、Excelの基礎からグラフ、データベース、応用的な関数の使い方を演習する。[数理・データサイエンス・AI リテラシーレベルのモデルカリキュラム：基礎2-1, 2-2, 2-3]</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの基礎知識を説明できるまで理解し習得する。 MS Word、EXCEL、PowerPointを使って文書、グラフ、プレゼンテーションの作成や表計算等の基本的な情報処理を習得する。 特定のテーマについて、コンピュータを活用したプレゼンテーションを実施するスキルを習得する。 				
授業内容とスケジュール					
1回	ガイダンス、授業で使う環境の確認				
2回	情報モラル・セキュリティ、Windowsの利用とコンピュータの基礎知識				
3回	MS Wordによる文書作成の基本				
4回	MS Wordによる表や図の活用				
5回	MS Wordによるレポートの作成				
6回	MS EXCELの基本操作、セルの操作、表の作成				
7回	MS EXCELによるグラフの作成、データベース操作				
8回	MS EXCELによる関数の活用、高度なグラフ作成				
9回	MS EXCELによるピボットテーブルの活用、マクロの作成				
10回	MS EXCELによる実践的なデータ処理				
11回	MS PowerPointによるプレゼンテーションの作成①				
12回	MS PowerPointによるプレゼンテーションの作成②				
13回	MS PowerPointによるプレゼンテーションの実施①				
14回	MS PowerPointによるプレゼンテーションの実施②				
15回	まとめと期末到達度確認テスト・解説				
コメント	学習の進捗次第で、内容や進め方を調整します				
授業時間外の学習（事前・事後学習）	<p>テキストを事前に予習したうえで、授業に臨むこと。</p> <p>授業で提示された課題が時間内に完成できなかった場合は、次回の授業開始前までに必ず完成させ、manabaに提出すること。</p> <p>授業でよく理解できなかった事項は、まずテキストを復習し、自分で考え学ぶ習慣を身につける。</p> <p>さらに理解できないことは、積極的に質問をし、早い時点で問題点を解決すること。</p>				
成績評価の方法及び基準	課題提出（40%）、プレゼンテーション等（30%）、学期末テスト（30%）				
課題に対するフィードバックの方法	manabaを利用してフィードバックを行う。				
質問等の受付	メールにて受付。また授業の最後にも質問を受け付ける時間を設ける。				

大妻女子大学

履修ガイド

2025



OTSUMA WOMAN'S UNIVERSITY

家政学部

文学部

社会情報学部

比較文化学部

データサイエンス学部

短期大学部



1 全学共通科目について

大妻教養講座について

1年次配当の「大妻教養講座」は本学の特色ある必修科目です。皆さんの母校となる本学がどのような建学の精神・伝統・特質を持っているかを学び、皆さんか誇りと自信をもって本学での学生生活を送ることができるよう応援します。さらに入学された皆さん、本学で何をどう学ぶかという入門講座の役割も果たします。また、大学で開講する「大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ」は2年次配当の選択科目で、「大妻教養講座」での学びを踏まえ、卒業生による講演を中心とした授業により将来像のロールモデルを見つけ、大学学修における一助となることを目的としています。

大妻データサイエンス・AIプログラムについて

文理を問わず数理・データサイエンス・AIの基礎的な知識・技術について学び、データ分析において重要な概念を身につけ、身近な問題解決に活かすスキルを持つ人材を育成することを目的とした教育プログラムです。修得した単位は、卒業必要単位数に算入することができます。また、プログラム修了者には、修了証（オープンバッジ*）を発行します。

教育プログラムの指定科目（合計2科目4単位を修得）

家政学部・文学部・比較文化学部・短期大学部	「情報基礎DS（表計算活用・データリテラシー）」（2単位）と「データサイエンス・AI概論」（2単位）
社会情報学部	「情報処理実習A」（2単位）と「データサイエンス・AI概論」（2単位）
データサイエンス学部	「情報処理入門」（2単位）と「データサイエンス・AI概論」（2単位）

コンピュータの基礎

*オープンバッジとは、世界共通の技術標準規格に沿って発行されるデジタル証明書です。修得した能力や知識を可視化・証明することで、学生自身による学習の振り返りやキャリア設計・選択に役立てることができます。またSNSやメール署名、デジタル履歴書などに貼り付けることができるため、就職活動などでアピールすることも可能です。

地域文化・国際理解科目について

「地域文化理解」・「国際理解（海外研修）」の単位を修得するには、本学が指定した地域連携プログラムや留学プログラムなどに参加し、一定以上の成績を修めなければなりません。

なお、履修登録の方法については、通常と異なりますので、UNIPA掲示等で確認してください。

他キャンパス履修

自分が所属するキャンパス以外（多摩キャンパス）で開講の全学共通科目を履修することができます。

他大学等との単位互換について

本学と単位互換協定を締結している大学等の科目を履修し修得した単位について、必要に応じて本学開設科目の「教養特殊講義」あるいは「外国語特殊演習」として、それぞれ教養科目区分、外国語科目区分の単位として認定します。

2 全学共通科目の卒業要件

家政学部

(2025年度入学生から適用)

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数												備考			
						被服学科			食物学科			児童学科		児童学専攻		児童教育専攻		ライフデザイン学科			
						必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択				
基礎科目	I 女性とキャンパスライフ	大妻教養講座	1 半期	講義	1	1		1		1		1		1		1					
		大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1 半期	講義	2																
		キャンパスライフとメンタルヘルス	2 半期	講義	1・2・3・4																
	II リテラシー	女性と健康	2 半期	講義	1・2・3・4																
		ジェンダーと社会生活	2 半期	講義	1・2・3・4																
		女性史	2 半期	講義	1・2・3・4																
		リーダーシップ開発	2 半期	演習	2・3・4																
		日本語A(文章表現)	2 半期	講義	1																
		日本語B(口頭表現)	2 半期	講義	1・2																
		日本語C(読解)	2 半期	講義	1																
教養科目	III キャリア	情報基礎PC(情報活用・PC操作)	2 半期	演習	1																
		情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)	2 半期	演習	1																
		データサイエンス・AI概論	2 半期	講義	1																
		A I 活用	2 半期	演習	2・3・4																
		キャリアデザインI	2 半期	講義	1・2																
		キャリアデザインII	2 半期	講義	2・3																
		キャリアデザインIII	2 半期	講義	3・4																
		キャリア・ディベロップメント・プログラムI	2 半期	演習	1・2・3・4																
		キャリア・ディベロップメント・プログラムII	2 半期	演習	2・3・4																
		文学の世界	2 半期	講義	1・2・3・4																
Ⅳ スポーツ	I 人間と文化	音楽の世界	2 半期	講義	1・2・3・4																
		美術の世界	2 半期	講義	1・2・3・4																
		映像・演劇の世界	2 半期	講義	1・2・3・4																
		考古学の世界	2 半期	講義	1・2・3・4																
		ポピュラー・カルチャーの世界	2 半期	講義	1・2・3・4																
		地域と文化	2 半期	講義	1・2・3・4																
		言語と文化	2 半期	講義	1・2・3・4																
		日本の歴史と文化	2 半期	講義	1・2・3・4																
		世界の歴史と文化	2 半期	講義	1・2・3・4																
		哲学と思想	2 半期	講義	1・2・3・4																
Ⅳ スポーツ	II 社会と生活	日本文化・事情	2 半期	講義	1・2・3・4																
		子どもの世界	2 半期	講義	1・2・3・4																
		人間の成長と心理	2 半期	講義	1・2・3・4																
		日本国憲法	2 半期	講義	1・2・3・4																
		法律と現代社会	2 半期	講義	1・2・3・4																
		政治と現代社会	2 半期	講義	1・2・3・4																
		経済と現代社会	2 半期	講義	1・2・3・4																
		メディアと現代社会	2 半期	講義	1・2・3・4																
		家族と現代社会	2 半期	講義	1・2・3・4																
		福祉と現代社会(ボランティアを含む)	2 半期	講義	1・2・3・4																
Ⅳ スポーツ	III 自然と科学	SDGsと現代社会	2 半期	講義	1・2・3・4																
		数学の世界	2 半期	講義	1・2・3・4																
		生活の物理	2 半期	講義	1・2・3・4																
		生活の化学	2 半期	講義	1・2・3・4																
		科学と環境	2 半期	講義	1・2・3・4																
		生命の科学	2 半期	講義	1・2・3・4																
		宇宙の科学	2 半期	講義	1・2・3・4																
		人類の進化	2 半期	講義	1・2・3・4																
		自然科学の歴史	2 半期	講義	1・2・3・4																
		スポーツA	1 半期	実技	1・2・3・4																
Ⅳ スポーツ		スポーツB	1 半期	実技	1・2・3・4																
		スポーツC	1 半期	実技	1・2・3・4																
		スポーツD	1 半期	実技	1・2・3・4																
		シーズン・スポーツ	1 半期	実技	1・2・3・4																
		スポーツと健康	2 半期	講義	1・2・3・4																
		レクリエーション論	2 半期	講義	1・2・3・4																
		レクリエーション実技	1 半期	実技	1・2・3・4																

外国人留学生優先

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数												備考		
						被服学科			食物学科			児童学科		児童学専攻		児童教育専攻		ライフデザイン学科		
						必修	選択必修	選択		必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択		
外国語科目	英語ⅠA	1	半期	演習	1	2			2			2			2			2		
	英語ⅠB	1	半期	演習	1															
	英語ⅠC	1	半期	演習	1															
	英語ⅠD	1	半期	演習	1															
	英語ⅡA	1	半期	演習	2															
	英語ⅡB	1	半期	演習	2															
	英語ⅡC	1	半期	演習	2															
	英語ⅡD	1	半期	演習	2															
	英語ⅢA	1	半期	演習	2															
	英語ⅢB	1	半期	演習	2															
	フランス語Ⅰ	1	半期	演習	1・2															
	フランス語Ⅱ	1	半期	演習	1・2															
	フランス語Ⅲ	1	半期	演習	2・3															
	フランス語Ⅳ	1	半期	演習	2・3															
	ドイツ語Ⅰ	1	半期	演習	1・2															
	ドイツ語Ⅱ	1	半期	演習	1・2															
	ドイツ語Ⅲ	1	半期	演習	2・3															
	ドイツ語Ⅳ	1	半期	演習	2・3															
	スペイン語Ⅰ	1	半期	演習	1・2															
	スペイン語Ⅱ	1	半期	演習	1・2															
	スペイン語Ⅲ	1	半期	演習	2・3															
	スペイン語Ⅳ	1	半期	演習	2・3															
国際理解科目	ロシア語Ⅰ	1	半期	演習	1・2															
	ロシア語Ⅱ	1	半期	演習	1・2															
	ロシア語Ⅲ	1	半期	演習	2・3															
	ロシア語Ⅳ	1	半期	演習	2・3															
	中国語Ⅰ	1	半期	演習	1・2															
	中国語Ⅱ	1	半期	演習	1・2															
	中国語Ⅲ	1	半期	演習	2・3															
	中国語Ⅳ	1	半期	演習	2・3															
	韓国語Ⅰ	1	半期	演習	1・2															
	韓国語Ⅱ	1	半期	演習	1・2															
日本語	韓国語Ⅲ	1	半期	演習	2・3															
	韓国語Ⅳ	1	半期	演習	2・3															
	日本語Ⅰ	1	半期	演習	1・2															
	日本語Ⅱ	1	半期	演習	1・2															
地域文化・国際理解科目	日本語Ⅲ	1	半期	演習	2・3															
	日本語Ⅳ	1	半期	演習	2・3															
	地域文化理解Ⅰ	2	集中	演習	1・2・3・4															
	地域文化理解Ⅱ	2	集中	演習	1・2・3・4															
	地域文化理解Ⅲ	2	集中	演習	1・2・3・4															
国際理解科目	国際理解(海外研修)Ⅰ	2	集中	演習	1・2・3・4															
	国際理解(海外研修)Ⅱ	2	集中	演習	1・2・3・4															
	国際理解(海外研修)Ⅲ	2	集中	演習	1・2・3・4															
	国際理解(海外研修)Ⅳ	1	集中	演習	1・2・3・4															
	国際理解(海外研修)Ⅴ	1	集中	演習	1・2・3・4															
最低履修単位数						3	16	15	3	16	9	3	16	9	3	8	9	3	16	15
						34			28			28			20			34		

注（1）この表は、全学共通科目の卒業要件である。専門教育科目については、各学科の項を参照すること。

注（2）上記の全学共通科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割で確認すること。

2 全学共通科目の卒業要件

文学部

(2025年度入学生から適用)

区分		授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数						備考
							日本文学科		英語英文学科		コミュニケーション文化学科		
基礎科目	I 女性とキャンパスライフ	大妻教養講座	1	半期	講義	1	1	1	1	1	1	1	
		大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1	半期	講義	2							
		キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2・3・4							
		女性と健康	2	半期	講義	1・2・3・4							
		ジェンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2・3・4							
		女性史	2	半期	講義	1・2・3・4							
	II リテラシー	リーダーシップ開発	2	半期	演習	2・3・4							
		日本語A(文章表現)	2	半期	講義	1							
		日本語B(口頭表現)	2	半期	講義	1・2	2						
		日本語C(読解)	2	半期	講義	1							
		情報基礎PC(情報活用・PC操作)	2	半期	演習	1							
教養科目	III キャリア	情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)	2	半期	演習	1							
		データサイエンス・AI概論	2	半期	講義	1							
		A.I活用	2	半期	演習	2・3・4							
		キャリアデザインI	2	半期	講義	1・2							
		キャリアデザインII	2	半期	講義	2・3							
	I 人間と文化	キャリアデザインIII	2	半期	講義	3・4							
		キャリア・ディベロップメント・プログラムI	2	半期	演習	1・2・3・4							
		キャリア・ディベロップメント・プログラムII	2	半期	演習	2・3・4							
		文学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4							
		音楽の世界	2	半期	講義	1・2・3・4							
教養科目	II 社会と生活	美術の世界	2	半期	講義	1・2・3・4							
		映像・演劇の世界	2	半期	講義	1・2・3・4							
		考古学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4							
		ポピュラー・カルチャーの世界	2	半期	講義	1・2・3・4							
		地域と文化	2	半期	講義	1・2・3・4							
	III 自然と科学	言語と文化	2	半期	講義	1・2・3・4							
		日本の歴史と文化	2	半期	講義	1・2・3・4							
		世界の歴史と文化	2	半期	講義	1・2・3・4							
		哲学と思想	2	半期	講義	1・2・3・4							
		日本文化・事情	2	半期	講義	1・2・3・4							外国人留学生優先
教養科目	IV スポーツ	子どもの世界	2	半期	講義	1・2・3・4							
		人間の成長と心理	2	半期	講義	1・2・3・4							
		日本国憲法	2	半期	講義	1・2・3・4							
		法律と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4	10	18	10	8	10	8	
		政治と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4							
	III 自然と科学	経済と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4							
		メディアと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4							
		家族と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4							
		福祉と現代社会(ボランティアを含む)	2	半期	講義	1・2・3・4							
		SDGsと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4							

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数									備考	
						日本文学科			英語英文学科			コミュニケーション文化学科				
						必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修		
外国語科目	英語 I A	1	半期	演習	1	2			8			8				
	英語 I B	1	半期	演習	1											
	英語 I C	1	半期	演習	1											
	英語 I D	1	半期	演習	1											
	英語 II A	1	半期	演習	2											
	英語 II B	1	半期	演習	2											
	英語 II C	1	半期	演習	2											
	英語 II D	1	半期	演習	2											
	英語 III A	1	半期	演習	2											
	英語 III B	1	半期	演習	2											
	フランス語 I	1	半期	演習	1・2											
	フランス語 II	1	半期	演習	1・2											
	フランス語 III	1	半期	演習	2・3											
	フランス語 IV	1	半期	演習	2・3											
	ドイツ語 I	1	半期	演習	1・2											
	ドイツ語 II	1	半期	演習	1・2											
	ドイツ語 III	1	半期	演習	2・3											
	ドイツ語 IV	1	半期	演習	2・3											
	スペイン語 I	1	半期	演習	1・2											
	スペイン語 II	1	半期	演習	1・2											
	スペイン語 III	1	半期	演習	2・3											
	スペイン語 IV	1	半期	演習	2・3											
	ロシア語 I	1	半期	演習	1・2											
	ロシア語 II	1	半期	演習	1・2											
	ロシア語 III	1	半期	演習	2・3											
	ロシア語 IV	1	半期	演習	2・3											
国際理解文化科目	中国語 I	1	半期	演習	1・2											
	中国語 II	1	半期	演習	1・2											
	中国語 III	1	半期	演習	2・3											
	中国語 IV	1	半期	演習	2・3											
	韓国語 I	1	半期	演習	1・2											
	韓国語 II	1	半期	演習	1・2											
	韓国語 III	1	半期	演習	2・3											
	韓国語 IV	1	半期	演習	2・3											
	日本語 I	1	半期	演習	1・2											
	日本語 II	1	半期	演習	1・2											
	日本語 III	1	半期	演習	2・3											
	日本語 IV	1	半期	演習	2・3											
地域文化科目	地域文化理解 I	2	集中	演習	1・2・3・4											
	地域文化理解 II	2	集中	演習	1・2・3・4											
	地域文化理解 III	2	集中	演習	1・2・3・4											
	国際理解(海外研修) I	2	集中	演習	1・2・3・4											
	国際理解(海外研修) II	2	集中	演習	1・2・3・4											
	国際理解(海外研修) III	2	集中	演習	1・2・3・4											
	国際理解(海外研修) IV	1	集中	演習	1・2・3・4											
	国際理解(海外研修) V	1	集中	演習	1・2・3・4											
	最低履修単位数						3	16	18	11	18	8	11	18	8	
							37		37		37					

注（1）この表は、全学共通科目の卒業要件である。専門教育科目については、各学科の項を参照すること。

注（2）上記の全学共通科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割で確認すること。

2 全学共通科目の卒業要件

社会情報学部

(2025年度入学生から適用)

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数									備考	
						社会生活情報学専攻			環境情報学専攻			情報デザイン専攻				
						必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択		
基礎科目	I 女性とキャンパスライフ	大妻教養講座	1	半期	講義	1	1		1			1				社会生活情報学専攻は選択必修単位数に含まれない 社会情報学部は開講せず
		大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1	半期	講義	2										
		キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2・3・4										
		女性と健康	2	半期	講義	1・2・3・4										
		ジエンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2・3・4										
		女性史	2	半期	講義	1・2・3・4										
		リーダーシップ開発	2	半期	演習	2・3・4										
	II リテラシー	日本語A(文章表現)	2	半期	講義	1										
		日本語B(口頭表現)	2	半期	講義	1・2										
		日本語C(読解)	2	半期	講義	1										
選択科目	情報基礎PC(情報活用・PC操作)	2	半期	演習	1											外国人留学生優先
		情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)	2	半期	演習	1										
		データサイエンス・AI概論	2	半期	講義	1										
		A I 活用	2	半期	演習	2・3・4										
	III キヤリア	キヤリアデザインI	2	半期	講義	1・2										
		キヤリアデザインII	2	半期	講義	2・3										
		キヤリアデザインIII	2	半期	講義	3・4										
		キヤリア・ディベロップメント・プログラムI	2	半期	演習	1・2・3・4										
		キヤリア・ディベロップメント・プログラムII	2	半期	演習	2・3・4										
	I 人間と文化	文学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4										
教養科目		音楽の世界	2	半期	講義	1・2・3・4										外国人留学生優先
		美術の世界	2	半期	講義	1・2・3・4										
		映像・演劇の世界	2	半期	講義	1・2・3・4										
		考古学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4										
		ポピュラー・カルチャーの世界	2	半期	講義	1・2・3・4										
		地域と文化	2	半期	講義	1・2・3・4										
		言語と文化	2	半期	講義	1・2・3・4										
		日本の歴史と文化	2	半期	講義	1・2・3・4										
		世界の歴史と文化	2	半期	講義	1・2・3・4										
		哲学と思想	2	半期	講義	1・2・3・4										
選択科目		日本文化・事情	2	半期	講義	1・2・3・4										外国人留学生優先
	II 社会と生活	子どもの世界	2	半期	講義	1・2・3・4										
		人間の成長と心理	2	半期	講義	1・2・3・4										
		日本国憲法	2	半期	講義	1・2・3・4										
		法律と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4										
		政治と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4										
		経済と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4										
		メディアと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4										
		家族と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4										
		福祉と現代社会(ボランティアを含む)	2	半期	講義	1・2・3・4										
選択科目	III 自然と科学	SDGsと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4										外国人留学生優先
		数学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4										
		生活の物理	2	半期	講義	1・2・3・4										
		生活の化学	2	半期	講義	1・2・3・4										
		科学と環境	2	半期	講義	1・2・3・4										
		命の科学	2	半期	講義	1・2・3・4										
		宇宙の科学	2	半期	講義	1・2・3・4										
		人類の進化	2	半期	講義	1・2・3・4										
		自然科学の歴史	2	半期	講義	1・2・3・4										
	IV スポーツ	スポーツA	1	半期	実技	1・2・3・4										
選択科目		スポーツB	1	半期	実技	1・2・3・4										外国人留学生優先
		スポーツC	1	半期	実技	1・2・3・4										
		スポーツD	1	半期	実技	1・2・3・4										
		シーズン・スポーツ	1	半期(～選択中)	実技	1・2・3・4										
		スポーツと健康	2	半期	講義	1・2・3・4										
		レクリエーション論	2	半期	講義	1・2・3・4										
		レクリエーション実技	1	半期	実技	1・2・3・4										

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数									備考	
						社会生活情報学専攻			環境情報学専攻			情報デザイン専攻				
						必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択		
外国語科目	英語 I A	1	半期	演習	1	8			8			8				
	英語 I B	1	半期	演習	1											
	英語 I C	1	半期	演習	1											
	英語 I D	1	半期	演習	1											
	英語 II A	1	半期	演習	2											
	英語 II B	1	半期	演習	2											
	英語 II C	1	半期	演習	2											
	英語 II D	1	半期	演習	2											
	英語 III A	1	半期	演習	2											
	英語 III B	1	半期	演習	2											
	フランス語 I	1	半期	演習	1・2											
	フランス語 II	1	半期	演習	1・2											
	フランス語 III	1	半期	演習	2・3											
	フランス語 IV	1	半期	演習	2・3											
	ドイツ語 I	1	半期	演習	1・2											
	ドイツ語 II	1	半期	演習	1・2											
	ドイツ語 III	1	半期	演習	2・3											
	ドイツ語 IV	1	半期	演習	2・3											
	スペイン語 I	1	半期	演習	1・2											
	スペイン語 II	1	半期	演習	1・2											
	スペイン語 III	1	半期	演習	2・3											
	スペイン語 IV	1	半期	演習	2・3											
	ロシア語 I	1	半期	演習	1・2											
	ロシア語 II	1	半期	演習	1・2											
	ロシア語 III	1	半期	演習	2・3											
	ロシア語 IV	1	半期	演習	2・3											
	中国語 I	1	半期	演習	1・2											
	中国語 II	1	半期	演習	1・2											
	中国語 III	1	半期	演習	2・3											
	中国語 IV	1	半期	演習	2・3											
	韓国語 I	1	半期	演習	1・2											
	韓国語 II	1	半期	演習	1・2											
	韓国語 III	1	半期	演習	2・3											
	韓国語 IV	1	半期	演習	2・3											
	日本語 I	1	半期	演習	1・2											
	日本語 II	1	半期	演習	1・2											
	日本語 III	1	半期	演習	2・3											
	日本語 IV	1	半期	演習	2・3											
国際理解文化・ 地域文化科目	地域文化理解 I	2	集中	演習	1・2・3・4											
	地域文化理解 II	2	集中	演習	1・2・3・4											
	地域文化理解 III	2	集中	演習	1・2・3・4											
	国際理解(海外研修) I	2	集中	演習	1・2・3・4											
	国際理解(海外研修) II	2	集中	演習	1・2・3・4											
	国際理解(海外研修) III	2	集中	演習	1・2・3・4											
	国際理解(海外研修) IV	1	集中	演習	1・2・3・4											
	国際理解(海外研修) V	1	集中	演習	1・2・3・4											
最低履修単位数							9	12	13	9	12	13	9	12	13	
							34		34		34					

注(1) この表は、全学共通科目の卒業要件である。専門教育科目については、各学科の項を参照すること。

注(2) 上記の全学共通科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割で確認すること。

5 専門教育科目の卒業要件

社会情報学科 社会生活情報学専攻

(2025年度入学生から適用)

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位数		卒業に必要な単位数
					必修	選択	
学部共通科目	コンピュータの基礎	1	半期	講義	2		(8)
	情報処理実習A	1	半期	実習	2		
	情報処理実習B	1	半期	実習	2		
	基礎社会学	1	半期	講義	2		
選択科目	基礎統計学	1	半期	講義・演習		2	(6)
	ソフトウェア概論	1	半期	講義		2	
	経営と社会会	1	半期	講義		2	
	A I 入門	1	半期	講義・実習		2	
	情報基礎数学	1・2	半期	講義		2	
	社会情報概論	2	半期	講義		2	
	情報報社会論	2	半期	講義		2	
	コミュニケーション論	2	半期	講義		2	
	情報報倫理	2・3	半期	講義		2	
	情報セキュリティ論	2・3	半期	講義		2	
	情報と職業	3・4	半期	講義		2	
	情報と法律	2・3	半期	講義		2	
	建築・不動産と社会	2	半期	講義		2	
	経営学入門	1	半期	講義	2		
必修	基礎経済学	1	半期	講義	2		(26)
	社会生活情報基礎演習I	1	半期	演習	2		
	社会生活情報基礎演習II	1	半期	演習	2		
	プログラミングの基礎	2	半期	講義・演習	2		
	プログラミング基礎演習	2	半期	講義・演習	2		
	社会情報学ゼミナールI	3	半期	演習	2		
	社会情報学ゼミナールII	3	半期	演習	2		
	社会情報学ゼミナールIII	4	半期	演習	2		
	社会情報学ゼミナールIV	4	半期	演習	2		
	卒業研究	4	半期	－	6		
	発達心理学	1	半期	講義	2		
	感情とパーソナリティの心理学	1	半期	講義	2		
専門教育科目	病と健康の心理学	1	半期	講義	2		
	老いの心理学	1	半期	講義	2		
	社会心理学	1	半期	講義	2		
	経済政策論	1・2	半期	講義	2		
	マクロ経済と金融	1・2	半期	講義	2		
	教育の経済学	2・3	半期	講義・演習	2		
	グローバル経済	2・3	半期	講義	2		
	社会保障の経済学	2・3	半期	講義	2		
	企業の経済学	2・3	半期	講義	2		
	行動経済学	2・3	半期	講義	2		
	産業論	2・3	半期	講義	2		
	情報報の経済学	2・3	半期	講義	2		
	日本経済論	2・3	半期	講義	2		
	経済史	2・3	半期	講義	2		
	女性労働論	2・3	半期	講義	2		
	労働経済学	2・3	半期	講義	2		
	国際金融論	3・4	半期	講義	2		
	ネットワーク経済論	3・4	半期	講義	2		

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位数		卒業に必要な単位数
					必修	選択	
経営学系	会計学入門	1・2	半期	講義		2	
	マーケティング入門	1・2	半期	講義		2	
	ケーススタディ経営学	2	半期	演習		2	
	経営戦略論	2・3	半期	講義		2	
	企業と社会	2・3	半期	講義		2	
	経営組織論	2・3	半期	講義		2	
	簿記	2・3	半期	講義		2	
	財務会計	2・3	半期	講義		2	
	管理会計	2・3	半期	講義		2	
	ファイナンス	2・3	半期	講義		2	
	マーケティング・サイエンス	2・3	半期	講義		2	
	流通論	2・3	半期	講義		2	
	ブランド論	2・3	半期	講義		2	
	消費者行動論	2・3	半期	講義		2	
	消費者行動演習	2・3・4	半期	演習		2	
社会学系	地域経営論	3・4	半期	講義		2	
	現代社会論	1・2	半期	講義		2	
	都市と文化化	1・2	半期	講義		2	
	ジェンダーとコロニアリズム	2・3	半期	講義		2	
	グローバリゼーションの社会学	2・3	半期	講義		2	
	量的調査演習	2・3	半期	演習		2	
	質的調査演習	2・3	半期	演習		2	
	社会調査法	1・2・3	半期	講義・演習		2	
	情報行動論	2・3	半期	講義		2	
	情報文化史	2・3	半期	講義		2	
	移動とエスニシティ	2・3	半期	講義		2	
	都市論	2・3	半期	講義		2	
	社会学の理論と方法	2・3	半期	講義		2	
	メディア学基礎	1・2	半期	講義		2	
	メディア歴史	2・3	半期	講義		2	
メディア学系	マスメディア論	2	半期	講義		2	
	情報表現法	2	半期	演習		2	
	コンテンツ産業論	2・3	半期	講義		2	
	オルタナティブ・メディア論	2・3	半期	講義		2	
	ソーシャルメディア論	2・3	半期	講義		2	
	メディア運用演習	2・3	半期	演習		2	
	メディア社会論演習	1・2	半期	演習		2	
	広告論	3・4	半期	講義		2	
	オンラインデータ分析	3・4	半期	演習		2	
	メディアと社会変容	2・3	半期	講義		2	
	多文化社会論	2・3	半期	講義		2	
	A.I社会論	2・3	半期	講義		2	
	情報分析演習	2	半期	演習		2	
	情報リテラシー演習	3	半期	演習		2	
科認留学 （1年間）	異文化理解I	1・2・3・4	—	—		2	
	異文化理解II	1・2・3・4	—	—		2	
教職課程登録者 （2年間）	アルゴリズム論及び演習I	3	半期	講義・演習		2	
	アルゴリズム論及び演習II	3	半期	講義・演習		2	
	情報システム論及び実習I	3	半期	講義・実習		2	
	情報システム論及び実習II	3	半期	講義・実習		2	
	情報ネットワーク論及び実習I	2・3	半期	講義・実習		2	
	情報ネットワーク論及び実習II	2・3	半期	講義・実習		2	

(50)

注(1) この表は社会情報学科社会生活情報学専攻の専門教育科目に関する規程であって、全学共通科目については全学共通科目の項による。

注(2) 各科目の配当年次は、変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

5 専門教育科目の卒業要件

社会情報学科 環境情報学専攻

(2025年度入学生から適用)

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位数			先修条件	資格科目	卒業に必要な単位数
					必修	選択必修	選択			
学 部 共 通 科 目	コンピュータの基礎	1	半期	講義	2					(6)
	情報処理実習A	1	半期	実習	2					
	情報処理実習B	1	半期	実習	2					
	基礎社会学	1	半期	講義			2			
	基礎統計学	1	半期	講義・演習			2			
	ソフトウェア概論	1	半期	講義			2			
選 択 科 目	経営と社会	1	半期	講義			2			(6)
	A-I入門	1	半期	講義・実習			2			
	情報基礎数学	1・2	半期	講義			2			
	社会情報概論	2	半期	講義			2			
	情報社会論	2	半期	講義			2			
	コミュニケーション論	2	半期	講義			2			
	情報倫理	2・3	半期	講義			2			
	情報セキュリティ論	2・3	半期	講義			2			
	情報と職業	3・4	半期	講義			2			
	情報と法律	2・3	半期	講義			2			
	建築・不動産と社会	2	半期	講義			2			
	環境情報学基礎演習	1	半期	演習	2					
必 修	環境学入門	1	半期	講義	2					(12)
	エコライフ論	1	半期	講義	2					
	環境情報処理論及び実習	3	半期	講義・実習	2					
	社会情報学ゼミナールⅢ	4	半期	演習	2			注(5)		
	社会情報学ゼミナールⅣ	4	半期	演習	2			注(5)		
	社会情報学ゼミナールⅠ	3	半期	演習		2		注(5)		
選 択 必 修	建築・都市ゼミナールⅠ	3	半期	演習		2		注(5)	☆	2 (6)
	社会情報学ゼミナールⅡ	3	半期	演習		2		注(5)	☆	
	建築・都市ゼミナールⅡ	3	半期	演習		2		注(5)	☆	
	卒業研究A	4	半期	—		6		注(5)		
	卒業研究B	4	半期	—		2		注(5)		
	はじめての物理	1	半期	講義			2			
専 門 教 育 科 目	化学の基礎	1	半期	講義			2			(6)
	生命のしくみ	2	半期	講義			2			
	環境と生命化学	2	半期	講義			2			
	地球環境論	2	半期	講義			2			
	住居環境論	2	半期	講義			2		☆	
	宇宙地球科学	2	半期	講義			2			
	物理の基礎(※1)	2	半期	講義			2			
	自然科学実験(物理)	2	半期②	実験			2			
	自然科学実験(化学)	2	半期②	実験			2			
	食と環境	3	半期	講義			2			
	健康と環境	3	半期	講義			2			
	環境演習I	3	半期②	講義・演習			2			
	環境演習II	3	半期②	講義・演習			2		☆	
	特殊講義Ⅱ(くらしと環境)	3	半期	講義			2		☆	
	環境生理学	3	半期	講義			2			
	健康と化学物質	3	半期	講義			2			
	環境科学	3	半期	講義			2			
	住居学	1	半期	講義			2		☆	
選 択 科 目	住環境のための数学	1	半期	講義			2			
	設計製図の基礎	2	半期②	演習			2	住居学	☆	
	住居デザイン演習I	2	半期②	演習			2	設計製図の基礎	☆	
	住居デザイン	2	半期	講義			2	住居学	☆	
	住環境とエコデザイン	2	半期	講義			2			
	キッチンデザイン演習	2	半期	講義・演習			2			
	力とかたちI	2	半期②	講義			2	住環境のための数学	☆	
	力とかたちII	2	半期	講義			2	注(6)	☆	
	建築と都市の歴史	2	半期	講義			2		☆	
	建築と社会	2	半期	講義			2		☆	
	建築インテリア材料	3	半期	講義			2		☆	
	住居デザイン演習II	3	半期②	演習			2	設計製図の基礎・住居デザイン演習I	☆	
	C A D 演習	3	半期	講義・演習			2			
	建築法規と都市デザイン	3	半期	講義			2		◆ ☆	

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位数			先修条件	資格科目	卒業に必要な単位数
					必修	選択必修	選択			
専門教育科目	持続的なくらしと社会	サステイナブル社会論	2	半期	講義		2			
		環境と経済 I	2・3	半期	講義		2			
		環境と法律 I	2・3	半期	講義		2		◆ ◇	
		環境と経営	2・3	半期	講義		2			
		環境とツーリズム	3	半期	講義		2			
		環境とまちづくり	3	半期	講義		2		◆ ☆	
		環境マネジメント論	3	半期	講義		2			
		特殊講義 I (社会と環境)	3	半期	講義		2			
		環境と経済 II	3・4	半期	講義		2			
		環境と法律 II	3・4	半期	講義		2		◆ ◇	
		環境とアグリビジネス	3・4	半期	講義		2			
		環境とマーケティング	3・4	半期	講義		2			
		エネルギーと環境	3・4	半期	講義		2			
		国際関係と環境法	3・4	半期	講義		2			
	環境との共生	環境デザイン論	1	半期	講義		2		◆ ◇ ☆	
		自然科学入門	1	半期	講義・演習		2			
		地学の基礎	1	半期	講義		2			
		海の環境学	2	半期	講義		2			
		環境保護論	2	半期	講義		2		◆ ◇	
		環境アセスメント論	2	半期	講義		2			☆
		エコロジー	2	半期	講義		2		◆ ◇	
		生物の基礎	2	半期	講義		2			
		環境生態デザイン	3	半期	講義		2		◇ ☆	
		フィールドワーク	3	半期②	実習		2		◆ ◇	
		ビオトープ論	3	半期	講義		2		◆ ◇ ☆	
		建築デザイン	3	半期	講義		2			☆
		環境教育	3	半期	講義		2			
		自然科学実験 (生物)	3	半期②	実験		2			
		自然科学実験 (地学)	3	半期②	実験		2			
情報処理	プログラミングの基礎	2	半期	講義・演習		2				
	プログラミング基礎演習	2	半期	講義・演習		2				
	異文化理解 I	1・2・3・4	—	—		2				
留学認定科目	異文化理解 II	1・2・3・4	—	—		2				

62
(56+6)
または
(60+2)

※ 1 隔年開講。

注 (1) この表は社会情報学科環境情報学専攻の専門教育科目に関する規程であって、全学共通科目については全学共通科目の項による。

注 (2) 各科目の配当年次は、変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注 (3) ◆印はビオトープ計画管理士 2 級試験一部免除に必要な科目。◇印はビオトープ施工管理士 2 級試験一部免除に必要な科目。

☆印は二級建築士・木造建築士試験指定科目。

注 (4) 社会情報学部の他専攻の選択科目および専門特殊講義を履修し、修得した 10 単位までを、専門教育科目（選択）の卒業要件単位とすることができます。

注 (5) 「社会情報学ゼミナール I / II 及び建築・都市ゼミナール I / II」は全学共通科目及び学部共通・専門教育科目で合計 50 単位以上、「社会情報学ゼミナール III / IV」及び「卒業研究 A/B」は全学共通科目及び学部共通・専門教育科目で合計 96 単位以上取得し、かつ、第 2 年次までの必修科目の単位をすべて取得（編入学者は除く）していることを履修の条件とする。

注 (6) 「力とかたち II」は専門選択科目の「力とかたち I」を同時に履修登録すること。

5 専門教育科目の卒業要件

社会情報学科 情報デザイン専攻

(2025年度入学生から適用)

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位数		先修条件	卒業に必要な単位数
					必修	選択		
学部共通科目	コンピュータの基礎	1	半期	講義	2			(8)
	情報処理実習A	1	半期	実習	2			
	情報処理実習B	1	半期	実習	2			
	情報基礎数学	1	半期	講義	2			
	基礎社会学	1	半期	講義		2		
	基礎統計学	1	半期	講義・演習		2		
	ソフトウェア概論	1	半期	講義		2		
	経営と社会	1	半期	講義		2		
	A.I入門	1	半期	講義・実習		2		
	社会情報概論	2	半期	講義		2		
専門教育科目	情報社会論	2	半期	講義		2		(40)
	コミュニケーション論	2	半期	講義		2		
	情報報倫理	2・3	半期	講義		2		
	情報セキュリティ論	2・3	半期	講義		2		
	情報と職業	3・4	半期	講義		2		
	情報と法律	2・3	半期	講義		2		
	建築・不動産と社会	2	半期	講義		2		
	情報処理原論	1	半期	講義	2			
	情報数学A	1	半期	講義	2			
	情報システム論及び実習I	3	半期	講義・実習	2			
専門教育科目	情報システム論及び実習II	3	半期	講義・実習	2			(40)
	プログラミング入門	1	半期	講義・演習	2			
	プログラミングの基礎	2	半期	講義・演習	2			
	プログラミング基礎演習	2	半期	講義・演習	2			
	プログラミング論及び演習	2	半期②	講義・演習	4			
	デザイン論及び演習I	1	半期	講義・演習	2			
	デザイン論及び演習II	1	半期	講義・演習	2			
	情報デザイン基礎演習	1	半期	演習	2			
	クリエイティブ思考法	2	半期	講義・演習	2			
	社会情報学ゼミナールI	3	半期	演習	2		注(3)	
専門教育科目	社会情報学ゼミナールII	3	半期	演習	2		注(3)	(40)
	社会情報学ゼミナールIII	4	半期	演習	2		注(3)	
	社会情報学ゼミナールIV	4	半期	演習	2		注(3)	
	卒業研究	4	半期	－	6			
	情報数学B	2	半期	講義		2		
	情報とモデル	2・3・4	半期	講義		2		
	統計処理及び演習	2・3	半期	講義・演習		2		
	A.Iデータ分析	3	半期	講義・演習		2		
	数値計算論	3	半期	講義		2		
専門教育科目	情報処理機器概論	1・2	半期	講義		2		(40)
	スマートデバイス論	2	半期	講義		2		
	経営情報システム論	3・4	半期	講義		2		
	情報ネットワーク論及び実習I	2・3	半期	講義・実習		2		
	情報ネットワーク論及び実習II	2・3	半期	講義・実習		2	情報ネットワーク論及び実習I	
	オフィスマネジメント論I	2	半期	講義		2		
	オフィスマネジメント論II	2	半期	講義		2		
	情報管理	2・3	半期	講義		2		
	アルゴリズム論及び演習I	3	半期	講義・演習		2		
	アルゴリズム論及び演習II	3	半期	講義・演習		2		

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位数		先修条件	卒業に必要な単位数
					必修	選択		
専門教育科目	システムコア	シミュレーション論	2・3・4	半期	講義	2		
		スマートデバイス応用Ⅰ	3	半期	講義・演習	2		
		スマートデバイス応用Ⅱ	3	半期	講義・演習	2		
		オブジェクト指向プログラミング論及び演習Ⅰ	3	半期	講義・演習	2		
		オブジェクト指向プログラミング論及び演習Ⅱ	3	半期	講義・演習	2	オブジェクト指向プログラミング論及び演習Ⅰ	
		Webプログラミング	3	半期	講義・演習	2		
		AIプログラミング	3	半期	講義・演習	2		
	デザインコア	認知科学	2	半期	講義	2		
		デジタルコンテンツ	2	半期	講義・演習	2		
		デジタルコンテンツ応用	2	半期	講義・演習	2		
		メディアアートⅠ	3	半期	講義・演習	2		
		メディアアートⅡ	3	半期	講義・演習	2		
		感性デザイン及び演習	3	半期	講義・演習	2		
		ウェブデザイン	3	半期	講義・演習	2		
	MMデザインコア	音声・音響デザイン	3・4	半期	講義・演習	2		
		インターフェースデザイン論	2	半期	講義・演習	2		
		マルチメディア論及び実習Ⅰ	2	半期	講義・実習	2		
		マルチメディア論及び実習Ⅱ	2	半期	講義・実習	2		
		コンピュータ・グラフィックスⅠ	2	半期	講義・演習	2		
		コンピュータ・グラフィックスⅡ	2	半期	講義・演習	2	コンピュータ・グラフィックスⅠ	
		画像情報処理論及び演習	3・4	半期	講義・演習	2		
科認留 目定学	異文化理解Ⅰ	1・2・3・4	—	—		2		
	異文化理解Ⅱ	1・2・3・4	—	—		2		

(34)

注(1) この表は社会情報学科情報デザイン専攻の専門教育科目に関する規程であって、全学共通科目については全学共通科目の項による。

注(2) 各科目の配当年次は、変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注(3) 「社会情報学ゼミナールⅠ・Ⅱ」は全学共通科目及び学部共通・専門教育科目で合計50単位以上、「社会情報学ゼミナールⅢ・Ⅳ」は全学共通科目及び学部共通・専門教育科目で合計94単位以上取得していることを履修の条件とする。

2 全学共通科目の卒業要件

比較文化学部

(2025年度入学生から適用)

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考	
						比較文化学科				
						必修	選択必修	選択		
基礎科目	I 女性とキャンパスライフ	大妻教養講座	1	半期	講義	1	1			
		大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1	半期	講義	2				
		キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2・3・4				
		女性と健康	2	半期	講義	1・2・3・4				
		ジェンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2・3・4				
		女性史	2	半期	講義	1・2・3・4				
		リーダーシップ開発	2	半期	演習	2・3・4				
	II リテラシー	日本語A(文章表現)	2	半期	講義	1				
		日本語B(口頭表現)	2	半期	講義	1・2	2			
		日本語C(読解)	2	半期	講義	1				
教養科目	III キャリア	情報基礎PC(情報活用・PC操作)	2	半期	演習	1				
		情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)	2	半期	演習	1				
		データサイエンス・AI概論	2	半期	講義	1				
		A I 活用	2	半期	演習	2・3・4				
		キャリアデザインI	2	半期	講義	1・2				
		キャリアデザインII	2	半期	講義	2・3				
		キャリアデザインIII	2	半期	講義	3・4				
		キャリア・ディベロップメント・プログラムI	2	半期	演習	1・2・3・4				
		キャリア・ディベロップメント・プログラムII	2	半期	演習	2・3・4				
	I 人間と文化	文学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4				
教養科目	II 社会と生活	音楽の世界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		美術の世界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		映像・演劇の世界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		考古学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		ポピュラー・カルチャーの世界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		地域と文化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		言語と文化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		日本の歴史と文化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		世界の歴史と文化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		哲学と思想	2	半期	講義	1・2・3・4				
教養科目	III 自然と科学	日本文化・事情	2	半期	講義	1・2・3・4				
	IV スポーツ	子どもの世界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		人間の成長と心理	2	半期	講義	1・2・3・4				
		日本国憲法	2	半期	講義	1・2・3・4				
		法律と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		政治と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		経済と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		メディアと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		家族と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4				
		福祉と現代社会(ボランティアを含む)	2	半期	講義	1・2・3・4				
教養科目	IV スポーツ	SDGsと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4	7			
		数学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4				
		生活の物理	2	半期	講義	1・2・3・4				
		生活の化学	2	半期	講義	1・2・3・4				
		科学と環境	2	半期	講義	1・2・3・4				
		命の科学	2	半期	講義	1・2・3・4				
		宇宙の科学	2	半期	講義	1・2・3・4				
		人類の進化	2	半期	講義	1・2・3・4				
		自然科学の歴史	2	半期	講義	1・2・3・4				
		スポーツA	1	半期	実技	1・2・3・4				
教養科目	IV スポーツ	スポーツB	1	半期	実技	1・2・3・4				
		スポーツC	1	半期	実技	1・2・3・4				
		スポーツD	1	半期	実技	1・2・3・4				
		シーズン・スポーツ	1	半期 (一学期中)	実技	1・2・3・4				
		スポーツと健康	2	半期	講義	1・2・3・4				
		レクリエーション論	2	半期	講義	1・2・3・4				
		レクリエーション実技	1	半期	実技	1・2・3・4				

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考	
						比較文化学科				
						必修	選択必修	選択		
外国語科目	英語 I A	1	半期	演習	1	10			外国人留学生対象	
	英語 I B	1	半期	演習	1					
	英語 I C	1	半期	演習	1					
	英語 I D	1	半期	演習	1					
	英語 II A	1	半期	演習	2					
	英語 II B	1	半期	演習	2					
	英語 II C	1	半期	演習	2					
	英語 II D	1	半期	演習	2					
	英語 III A	1	半期	演習	2					
	英語 III B	1	半期	演習	2					
	フランス語 I	1	半期	演習	1・2	4				
	フランス語 II	1	半期	演習	1・2					
	フランス語 III	1	半期	演習	1・2					
	フランス語 IV	1	半期	演習	1・2					
	ドイツ語 I	1	半期	演習	1・2	4				
	ドイツ語 II	1	半期	演習	1・2					
	ドイツ語 III	1	半期	演習	1・2					
	ドイツ語 IV	1	半期	演習	1・2					
	スペイン語 I	1	半期	演習	1・2	4				
	スペイン語 II	1	半期	演習	1・2					
	スペイン語 III	1	半期	演習	1・2					
	スペイン語 IV	1	半期	演習	1・2					
	ロシア語 I	1	半期	演習	1・2	4				
	ロシア語 II	1	半期	演習	1・2					
	ロシア語 III	1	半期	演習	1・2					
	ロシア語 IV	1	半期	演習	1・2					
	中国語 I	1	半期	演習	1・2	4				
	中国語 II	1	半期	演習	1・2					
	中国語 III	1	半期	演習	1・2					
	中国語 IV	1	半期	演習	1・2					
	韓国語 I	1	半期	演習	1・2	4				
	韓国語 II	1	半期	演習	1・2					
	韓国語 III	1	半期	演習	1・2					
	韓国語 IV	1	半期	演習	1・2					
	日本語 I	1	半期	演習	1・2	4				
	日本語 II	1	半期	演習	1・2					
	日本語 III	1	半期	演習	2・3					
	日本語 IV	1	半期	演習	2・3					
国際文化理解科目	地域文化理解 I	2	集中	演習	1・2・3・4	15	16	7	外国人留学生対象	
	地域文化理解 II	2	集中	演習	1・2・3・4					
	地域文化理解 III	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国際理解(海外研修) I	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国際理解(海外研修) II	2	集中	演習	1・2・3・4					
最低履修単位数						15	16	7		
						38				

注(1) この表は、全学共通科目の卒業要件である。専門教育科目については、各学科の項を参照すること。

注(2) 上記の全学共通科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割で確認すること。

4 全学共通科目の卒業要件

データサイエンス学部

(2025年度入学生から適用)

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位	卒業必要単位数			備考	
						データサイエンス学科				
						必修	選択必修	選択		
基礎科目	I 女性とキャンパスライフ	大妻教養講座	1	半期	講義	1	1		データサイエンス学部は開講せず	
		大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	2	半期	講義	1				
		キャンパスライフとメンタルヘルス	1・2・3・4	半期	講義	2				
		女性と健康	1・2・3・4	半期	講義	2				
		ジェンダーと社会生活	1・2・3・4	半期	講義	2				
		女性史	1・2・3・4	半期	講義	2				
		リーダーシップ開発	2・3・4	半期	演習	2				
	II リリテラシー	日本語 A (文章表現)	1	半期	講義	2				
		日本語 B (口頭表現)	1・2	半期	講義	2				
		日本語 C (読解)	1	半期	講義	2				
教養科目	III キャリア	情報基礎PC (情報活用・PC操作)	1	半期	演習	2			外国人留学生優先	
		情報基礎DS (表計算活用・データリテラシー)	1	半期	演習	2				
		データサイエンス・AI概論	1	半期	講義	2				
		A I 活用	2・3・4	半期	演習	2				
		キャリアデザイン I	1・2	半期	講義	2				
		キャリアデザイン II	2・3	半期	講義	2				
		キャリアデザイン III	3・4	半期	講義	2				
		キャリア・デベロップメント・プログラムI	1・2・3・4	半期	演習	2				
		キャリア・デベロップメント・プログラムII	2・3・4	半期	演習	2				
	IV スポーツ	文学の世界	1・2・3・4	半期	講義	2				
教養科目	I 人間と文化	音楽の世界	1・2・3・4	半期	講義	2			8	
		美術の世界	1・2・3・4	半期	講義	2				
		映像・演劇の世界	1・2・3・4	半期	講義	2				
		考古学の世界	1・2・3・4	半期	講義	2				
		ポピュラー・カルチャーの世界	1・2・3・4	半期	講義	2				
		地域と文化	1・2・3・4	半期	講義	2				
		言語と文化	1・2・3・4	半期	講義	2				
		日本の歴史と文化	1・2・3・4	半期	講義	2				
		世界の歴史と文化	1・2・3・4	半期	講義	2				
		哲学と思想	1・2・3・4	半期	講義	2				
教養科目	II 社会と生活	日本文化・事情	1・2・3・4	半期	講義	2			13	
		子どもの世界	1・2・3・4	半期	講義	2				
		人間の成長と心理	1・2・3・4	半期	講義	2				
		日本国憲法	1・2・3・4	半期	講義	2				
		法律と現代社会	1・2・3・4	半期	講義	2				
		政治と現代社会	1・2・3・4	半期	講義	2				
		経済と現代社会	1・2・3・4	半期	講義	2				
		メディアと現代社会	1・2・3・4	半期	講義	2				
		家族と現代社会	1・2・3・4	半期	講義	2				
		福祉と現代社会(ボランティアを含む)	1・2・3・4	半期	講義	2				
教養科目	III 自然と科学	SDGsと現代社会	1・2・3・4	半期	講義	2				
		数学の世界	1・2・3・4	半期	講義	2				
		生活の物理	1・2・3・4	半期	講義	2				
		生活の化学	1・2・3・4	半期	講義	2				
		科学と環境	1・2・3・4	半期	講義	2				
		命の科学	1・2・3・4	半期	講義	2				
		宇宙の科学	1・2・3・4	半期	講義	2				
		人類の進化	1・2・3・4	半期	講義	2				
		自然科学の歴史	1・2・3・4	半期	講義	2				
	IV スポーツ	スポーツA	1・2・3・4	半期	実技	1				
教養科目		スポーツB	1・2・3・4	半期	実技	1				
		スポーツC	1・2・3・4	半期	実技	1				
		スポーツD	1・2・3・4	半期	実技	1				
		シーズン・スポーツ	1・2・3・4	半期	実技	1				
		スポーツと健康	1・2・3・4	半期	講義	2				
		レクリエーション論	1・2・3・4	半期	講義	2				
		レクリエーション実技	1・2・3・4	半期	実技	1				

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位	卒業必要単位数			備考	
						データサイエンス学科				
						必修	選択必修	選択		
外国語科目	英語 I A	1	半期	演習	1	4				
	英語 I B	1	半期	演習	1					
	英語 I C	1	半期	演習	1					
	英語 I D	1	半期	演習	1					
	英語 II A	2	半期	演習	1					
	英語 II B	2	半期	演習	1					
	英語 II C	2	半期	演習	1					
	英語 II D	2	半期	演習	1					
	英語 III A	2	半期	演習	1					
	英語 III B	2	半期	演習	1					
	フランス語 I	1・2	半期	演習	1					
	フランス語 II	1・2	半期	演習	1					
	フランス語 III	2・3	半期	演習	1					
	フランス語 IV	2・3	半期	演習	1					
	ドイツ語 I	1・2	半期	演習	1					
	ドイツ語 II	1・2	半期	演習	1					
	ドイツ語 III	2・3	半期	演習	1					
	ドイツ語 IV	2・3	半期	演習	1					
	スペイン語 I	1・2	半期	演習	1					
	スペイン語 II	1・2	半期	演習	1					
	スペイン語 III	2・3	半期	演習	1					
	スペイン語 IV	2・3	半期	演習	1					
国際理解科目	ロシア語 I	1・2	半期	演習	1				外国人留学生対象	
	ロシア語 II	1・2	半期	演習	1					
	ロシア語 III	2・3	半期	演習	1					
	ロシア語 IV	2・3	半期	演習	1					
	中国語 I	1・2	半期	演習	1					
	中国語 II	1・2	半期	演習	1					
	中国語 III	2・3	半期	演習	1					
	中国語 IV	2・3	半期	演習	1					
	韓国語 I	1・2	半期	演習	1					
	韓国語 II	1・2	半期	演習	1					
	韓国語 III	2・3	半期	演習	1					
	韓国語 IV	2・3	半期	演習	1					
	日本語 I	1・2	半期	演習	1					
	日本語 II	1・2	半期	演習	1					
	日本語 III	2・3	半期	演習	1					
	日本語 IV	2・3	半期	演習	1					
地域文化・国際理解科目	地域文化理解 I	1・2・3・4	半期	演習	2					
	地域文化理解 II	1・2・3・4	半期	演習	2					
	地域文化理解 III	1・2・3・4	半期	演習	2					
	国際理解(海外研修) I	1・2・3・4	半期	演習	2					
	国際理解(海外研修) II	1・2・3・4	半期	演習	2					
	国際理解(海外研修) III	1・2・3・4	半期	演習	2					
	国際理解(海外研修) IV	1・2・3・4	半期	演習	1					
	国際理解(海外研修) V	1・2・3・4	半期	演習	1					
	最低履修単位数					5	12	13		
						30				

注(1) この表は、全学共通科目の卒業要件である。専門教育科目については、各学科の項を参照すること。

注(2) 上記の全学共通科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割で確認すること。

5 専門教育科目の卒業要件

データサイエンス学科

(2025年度入学生から適用)

区分	授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位			先修条件	卒業に必要な単位数
					必修	選択必修	選択		
必修	線形代数学 I	1	半期	講義・演習	2			(6)	
	微積分学 I	1	半期	講義・演習	2				
	統計学入門	1	半期	講義	2				
	情報処理入門	1	半期	講義・演習	2			(6)	
	コンピュータの基礎	1	半期	演習	2				
	プログラミング I	1	半期	講義・演習	2				
	経済学入門	1	半期	講義	2			(4)	
	経営学入門	1	半期	講義	2				
	データサイエンス入門	1	半期	講義	2			(4)	
	データサイエンス倫理	2	半期	講義・演習	2				
専門教育科目	入門演習 I	1	半期	演習	2			(20)	
	入門演習 II	1	半期	演習	2				
	基礎演習 I	2	半期	演習	2				
	基礎演習 II	2	半期	演習	2				
	専門演習 I	3	半期	演習	2			注(1)	
	専門演習 II	3	半期	演習	2				
	専門演習 III	4	半期	演習	2			注(1)	
	専門演習 IV	4	半期	演習	2				
	卒業研究	4	半期	－	4			(20)	
	数理統計学	2・3	半期	講義		2			
選択必修	回帰分析	2・3	半期	講義・演習		2		2	
	プログラミング II	2・3	半期	講義・演習		2			
	ネットワークとセキュリティ	2・3	半期	講義		2		2	
	AI基礎	2・3	半期	講義・演習		2			
	ビジネス・エコノミクス	2・3	半期	講義		2		4	
	政策評価	2・3	半期	講義		2			
	経営戦略	2・3	半期	講義		2		4	
	マーケティング	2・3	半期	講義		2			
	人材開発	2・3	半期	講義		2		2	(10)
	実務から学ぶデータサイエンス	1・2	半期	講義		2			
選択	協働連携プロジェクト A	3・4	半期	演習		2		2	
	協働連携プロジェクト B	3・4	半期	演習		2			
	線形代数学 II	1・2	半期	講義・演習		2		(15)	
	微積分学 II	1・2	半期	講義・演習		2			
	多変量データ解析	2・3	半期	演習		2			
	確率論	2・3	半期	講義・演習		2			
	因果推論	3・4	半期	講義		2			
	ベイズ統計学	3・4	半期	講義		2			
	時系列分析	3・4	半期	講義・演習		2			
	数理モデルリング	3・4	半期	講義・演習		2			
	コンピュータシステム	1	半期	講義		2			
	AI・機械学習	2・3	半期	講義・演習		2			
	Web プログラミング	3・4	半期	講義・演習		2			
	深層学習	3・4	半期	講義・演習		2			
	システムソフトウェア	3・4	半期	講義		2			
	ヒューマンコンピュータインターフェース	3・4	半期	講義・演習		2			
	信号処理	3・4	半期	講義・演習		2			
	並列分散システム	3・4	半期	講義		2			
	IoT	3・4	半期	講義・演習		2			
	ゲーミフィケーション	3・4	半期	演習		2			

区分		授業科目名	配当年次	期間	講義・演習等の別	単位			先修条件	卒業に必要な単位数
						必修	選択必修	選択		
専門教育科目	選択	ビジネス系科目群	経済分野科目	企業経済データ分析	3・4	半期	講義・演習		2	
				労働経済データ分析	3・4	半期	講義・演習		2	
				地域経済データ分析	3・4	半期	講義・演習		2	
				国際経済データ分析	3・4	半期	講義・演習		2	
				マクロ経済と経済政策	2・3・4	半期	講義		2	
				企業競争と産業政策	3・4	半期	講義		2	
				女性労働	2・3・4	半期	講義		2	
				社会保障	2・3・4	半期	講義		2	
				金融システム	2・3・4	半期	講義		2	
			経営分野科目	戦略データ分析	2・3	半期	講義・演習		2	
				マーケティングデータ分析	2・3	半期	講義・演習		2	
				人材データ分析	3・4	半期	講義・演習		2	
				財務データ分析	3・4	半期	講義・演習		2	
				イノベーションマネジメント	3・4	半期	講義		2	
				デジタル経営	3・4	半期	講義		2	
				起業論	3・4	半期	講義		2	
				消費者行動	3・4	半期	講義		2	
				マーケティング・コミュニケーション	3・4	半期	講義		2	
				デジタルマーケティング	3・4	半期	講義		2	
			サイデータ	キャリア開発	2・3	半期	講義		2	
				ダイバーシティ経営	3・4	半期	講義		2	
				会計学	2・3	半期	講義		2	
				ビジネス英語	2・3・4	半期	演習		2	
				データサイエンスと心理	2・3	半期	講義		2	
				デザイン思考	2・3	半期	講義・演習		2	
			データサイエンス	データ可視化	2・3	半期	講義・演習		2	
				データハンドリング	2・3	半期	講義・演習		2	
				調査法	2・3	半期	講義		2	
				チームマネジメント	2・3	半期	講義		2	

(44)

注(1)「専門演習Ⅰ・Ⅱ」は全学共通科目及び専門教育科目で合計50単位以上修得し、かつ、第1年次までの専門教育科目の必修単位をすべて修得していることを履修の条件とする。

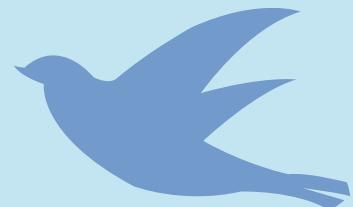
大妻女子大学

履修ガイド
2025



OTSUMA WOMAN'S UNIVERSITY

人間関係学部



1 全学共通科目について

「大妻教養講座」について

1年次配当の「大妻教養講座」は本学の特色ある必修科目です。皆さんの母校となる本学がどのような建学の精神・伝統・特質を持っているかを学び、皆さんが誇りと自信をもって本学での学生生活を送ることができるよう応援します。さらに入学された皆さん、本学で何をどう学ぶかという入門講座の役割も果たします。また、大学で開講する「大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ」は2年次配当の選択科目で、「大妻教養講座」での学びを踏まえ、卒業生による講演を中心とした授業により将来像のロールモデルを見つけ、大学学修における一助となることを目的としています。

「大妻データサイエンス・AI プログラムについて

文理を問わず数理・データサイエンス・AIの基礎的な知識・技術について学び、データ分析において重要な概念を身につけ、身近な問題解決に活かすスキルを持つ人材を育成することを目的とした教育プログラムです。修得した単位は、卒業必要単位数に算入することができます。また、プログラム修了者には、修了証(オープンバッジ*)を発行します。

教育プログラムの指定科目（合計2科目4単位を修得）

「情報基礎 DS (表計算活用・データリテラシー)」(2単位) と「データサイエンス・AI 概論」(2単位)

*オープンバッジとは、世界共通の技術標準規格に沿って発行されるデジタル証明書です。修得した能力や知識を可視化・証明することで、学生自身による学習の振り返りやキャリア設計・選択に役立てるすることができます。またSNSやメール署名、デジタル履歴書などに貼り付けることができるため、就職活動などでアピールすることも可能です。

「地域文化・国際理解科目について

「地域文化理解」・「国際理解（海外研修）」の単位を修得する学生は、本学が指定した地域連携プログラムや留学プログラムなどに参加し、一定の成績を修めなければなりません。

なお、履修登録の方法については、通常と異なりますので、UNIPA掲示等で確認してください。

「他キャンパス履修について」

自分が所属するキャンパス以外（千代田キャンパス）で開講の全学共通科目を履修することができます。

「単位互換について」

本学と単位互換協定を締結している大学等の科目を履修し修得した単位について、必要に応じて本学開設科目の「教養特殊講義」あるいは「外国語特殊演習」として、それぞれ教養科目区分、外国語科目区分の単位として認定されます。

「諸課程履修者に関わる単位の取り扱いについて」

図書館学課程（図書館司書課程）、博物館学芸員課程において修得した単位を以下の表のとおり、卒業要件の単位数として認めます。

これにより修得した単位は、卒業に必要な全学共通科目の選択科目の単位数に含めることができます。

ただし、2つ以上の課程を履修する者は8単位を上限とします。

学部	対象科目	卒業要件として認められる単位数
人間関係学部	図書館司書課程科目	4単位
	博物館学芸員課程科目（全学共通科目除く）	4単位

*卒業年次において、全学共通科目の選択科目の卒業要件単位数が不足している場合に限り、上記の範囲内で不足している単位数分のみ認められる。

「大妻女子大学短期大学部での単位修得について」

大妻女子大学（四年制）と大妻女子大学短期大学部は、法令上では別の大学として扱われ、全学共通科目も別々に開講しています。

しかし、大学と短期大学相互の協力交流を通じて教育課程の充実をはかり、学生の幅広い視野の育成と学習意欲の向上を目的とした協定を締結することで、一定の範囲内で、お互いの全学共通科目を履修できることになっています。履修できる科目等の詳細は、履修登録期間の掲示等でお知らせします。また、「大妻女子大学短期大学部単位互換」で修得した単位は、卒業要件として認定できます。

人間関係学部 全学共通科目の選択科目として、社会学専攻は9単位、社会・臨床心理学専攻は15単位、人間福祉学科は6単位まで認める

1 人間関係学部 人間関係学科 社会学専攻 全学共通科目

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考	
						人間関係学科				
						社会学専攻				
						必修	選択必修	選択		
基礎科目	I 女性とキャンパスライフ 大妻教養講座Ⅰ 卒業生から学ぶ キャンパスライフとメンタルヘルス 女性と健康 ジェンダーと社会生活 女性史 リーダーシップ開発	1 1 2 2 2 2	半期 半期 半期 半期 半期 半期	講義 講義 講義 講義 講義 演習	1 2 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 2・3・4	<input type="checkbox"/> 1 2				
	日本語 A (文章表現) 日本語 B (口頭表現) 日本語 C (読解) 情報基礎 PC (情報活用・PC操作) 情報基礎 DS (表計算活用・データリテラシー) データサイエンス・AI概論 A I 活用	2 2 2 2 2 2 2	半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期	講義 講義 講義 演習 演習 講義 演習	1 1・2 1 1 1 1 2・3・4					
	III キャリア キャリアデザイン I キャリアデザイン II キャリアデザイン III キャリア・ディベロップメント・プログラム I キャリア・ディベロップメント・プログラム II	2 2 2 2 2 2	半期 半期 半期 半期 半期 半期	講義 講義 講義 演習 演習 演習	1・2 2・3 3・4 1・2・3・4 2・3・4					
	I 人間と文化 文学の世界 音楽の世界 美術の世界 映像・演劇の世界 考古学の世界 ポピュラー・カルチャーの世界 地域と文化 言語と文化 日本の歴史と文化 世界の歴史と文化 哲学と思想 日本文化・事情	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4				外国人留学生優先	
	II 社会と生活 子どもの世界 人間の成長と心理 日本国憲法 法律と現代社会 政治と現代社会 経済と現代社会 メディアと現代社会 家族と現代社会 福祉と現代社会(ボランティアを含む) SDGsと現代社会	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4		10	9		
	III 自然と科学 数学の世界 生活の物理 生活の化学 科学と環境 命の科学 宇宙の科学 人類の進化 自然科学の歴史	2 2 2 2 2 2 2 2 2	半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4					
	IV スポーツ スポーツA スポーツB スポーツC スポーツD シーズン・スポーツ スポーツと健康 レクリエーション論 レクリエーション実技	1 1 1 1 1 半期 2 2 1	半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期 半期	実技 実技 実技 実技 実技 実技 講義 講義 講義	1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4					

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考	
						人間関係学科				
						社会学専攻				
						必修	選択必修	選択		
外国語科目	英語 I A	1	半期	演習	1	6			千代田キャンパスのみ開講	
	英語 I B	1	半期	演習	1					
	英語 I C	1	半期	演習	1					
	英語 I D	1	半期	演習	1					
	英語 II A	1	半期	演習	2					
	英語 II B	1	半期	演習	2					
	英語 II C	1	半期	演習	2					
	英語 II D	1	半期	演習	2					
	英語 III A	1	半期	演習	2					
	英語 III B	1	半期	演習	2					
	フランス語 I	1	半期	演習	1・2					
	フランス語 II	1	半期	演習	1・2					
	フランス語 III	1	半期	演習	2・3					
	フランス語 IV	1	半期	演習	2・3					
	ドイツ語 I	1	半期	演習	1・2					
	ドイツ語 II	1	半期	演習	1・2					
	ドイツ語 III	1	半期	演習	2・3					
	ドイツ語 IV	1	半期	演習	2・3					
	スペイン語 I	1	半期	演習	1・2					
	スペイン語 II	1	半期	演習	1・2					
	スペイン語 III	1	半期	演習	2・3					
	スペイン語 IV	1	半期	演習	2・3					
	ロシア語 I	1	半期	演習	1・2					
	ロシア語 II	1	半期	演習	1・2					
	ロシア語 III	1	半期	演習	2・3					
	ロシア語 IV	1	半期	演習	2・3					
地域文化・国際理解科目	中国語 I	1	半期	演習	1・2				外国人留学生対象	
	中国語 II	1	半期	演習	1・2					
	中国語 III	1	半期	演習	2・3					
	中国語 IV	1	半期	演習	2・3					
	韓国語 I	1	半期	演習	1・2					
	韓国語 II	1	半期	演習	1・2					
	韓国語 III	1	半期	演習	2・3					
	韓国語 IV	1	半期	演習	2・3					
	日本語 I	1	半期	演習	1・2					
	日本語 II	1	半期	演習	1・2					
	日本語 III	1	半期	演習	2・3					
	日本語 IV	1	半期	演習	2・3					
最低履修単位数	地域文化理解 I	2	集中	演習	1・2・3・4				32	
	地域文化理解 II	2	集中	演習	1・2・3・4					
	地域文化理解 III	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国際理解(海外研修) I	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国際理解(海外研修) II	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国際理解(海外研修) III	2	集中	演習	1・2・3・4					
国際理解(海外研修) IV	国際理解(海外研修) IV	1	集中	演習	1・2・3・4				9	
	国際理解(海外研修) V	1	集中	演習	1・2・3・4					

1 人間関係学部 人間関係学科 社会・臨床心理学専攻 全学共通科目

(令和7年度入学生から適用)

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考	
						人間関係学科				
						社会・臨床心理学専攻				
						必修	選択必修	選択		
基礎科目	I 女性とキャンパスライフ 大妻教養講座	1	半期	講義	1	□ 1				
	大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1	半期	講義	2					
	キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2・3・4					
	女性と健康	2	半期	講義	1・2・3・4					
	ジエンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2・3・4					
	女性史	2	半期	講義	1・2・3・4					
	リーダーシップ開発	2	半期	演習	2・3・4					
	日本語A(文書表現)	2	半期	講義	1					
	日本語B(口頭表現)	2	半期	講義	1・2					
	日本語C(読解)	2	半期	講義	1					
II リテラシー	情報基礎PC(情報活用・PC操作)	2	半期	演習	1					
	情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)	2	半期	演習	1					
	データサイエンス・AI概論	2	半期	講義	1					
	A I 活用	2	半期	演習	2・3・4					
	キャリアデザインI	2	半期	講義	1・2					
	キャリアデザインII	2	半期	講義	2・3					
	キャリアデザインIII	2	半期	講義	3・4					
	キャリア・ディベロップメント・プログラムI	2	半期	演習	1・2・3・4					
	キャリア・ディベロップメント・プログラムII	2	半期	演習	2・3・4					
	文 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4					
III キャリア	音 楽 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	美 術 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	映 像 ・ 演 劇 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	考 古 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	ポピュラー・カルチャーの世界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	地 域 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4					
	言 語 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4					
	日 本 の 歴 史 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4					
	世 界 の 歴 史 と 文 化	2	半期	講義	1・2・3・4					
	哲 学 と 思 想	2	半期	講義	1・2・3・4					
IV 教養科目	日 本 文 化 ・ 事 情	2	半期	講義	1・2・3・4				外国人留学生優先	
	子 ど も の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	人 ま ま の 成 長 と 心 理	2	半期	講義	1・2・3・4					
	日 本 国 憲 法	2	半期	講義	1・2・3・4					
	法 律 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	政 治 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	経 済 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	メ デ ィ ア と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	家 族 と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	福 祉 と 現 代 社 会(ボランティアを含む)	2	半期	講義	1・2・3・4					
V 自然と科学	S D G s と 現 代 社 会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	数 学 の 世 界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	生 活 の 物 理	2	半期	講義	1・2・3・4					
	生 活 の 化 学	2	半期	講義	1・2・3・4					
	科 学 と 環 境	2	半期	講義	1・2・3・4					
	生 命 の 科 学	2	半期	講義	1・2・3・4					
	宇 宙 の 科 学	2	半期	講義	1・2・3・4					
	人 類 の 進 化	2	半期	講義	1・2・3・4					
	自 然 科 学 の 歴 史	2	半期	講義	1・2・3・4					
	ス ポ ー ツ A	1	半期	実技	1・2・3・4					
VI スポーツ	ス ポ ー ツ B	1	半期	実技	1・2・3・4					
	ス ポ ー ツ C	1	半期	実技	1・2・3・4					
	ス ポ ー ツ D	1	半期	実技	1・2・3・4					
	シ ー ズ ン ・ ス ポ ー ツ	1	半期 (一部集中)	実技	1・2・3・4					
	ス ポ ー ツ と 健 康	2	半期	講義	1・2・3・4					
	レ ク リ エ ー シ ョ ン 論	2	半期	講義	1・2・3・4					
	レ ク リ エ ー シ ョ ン 実 技	1	半期	実技	1・2・3・4					

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考	
						人間関係学科				
						社会・臨床心理学専攻				
						必修	選択必修	選択		
外国語科目	英語 I A	1	半期	演習	1	6			千代田キャンパスのみ開講	
	英語 I B	1	半期	演習	1					
	英語 I C	1	半期	演習	1					
	英語 I D	1	半期	演習	1					
	英語 II A	1	半期	演習	2					
	英語 II B	1	半期	演習	2					
	英語 II C	1	半期	演習	2					
	英語 II D	1	半期	演習	2					
	英語 III A	1	半期	演習	2					
	英語 III B	1	半期	演習	2					
	フランス語 I	1	半期	演習	1・2					
	フランス語 II	1	半期	演習	1・2					
	フランス語 III	1	半期	演習	2・3					
	フランス語 IV	1	半期	演習	2・3					
	ドイツ語 I	1	半期	演習	1・2					
	ドイツ語 II	1	半期	演習	1・2					
	ドイツ語 III	1	半期	演習	2・3					
	ドイツ語 IV	1	半期	演習	2・3					
	スペイン語 I	1	半期	演習	1・2					
	スペイン語 II	1	半期	演習	1・2					
	スペイン語 III	1	半期	演習	2・3					
	スペイン語 IV	1	半期	演習	2・3					
	ロシア語 I	1	半期	演習	1・2	千代田キャンパスのみ開講				
	ロシア語 II	1	半期	演習	1・2					
	ロシア語 III	1	半期	演習	2・3					
	ロシア語 IV	1	半期	演習	2・3					
地域文化・国際理解科目	中国語 I	1	半期	演習	1・2				外国人留学生対象	
	中国語 II	1	半期	演習	1・2					
	中国語 III	1	半期	演習	2・3					
	中国語 IV	1	半期	演習	2・3					
	韓国語 I	1	半期	演習	1・2					
	韓国語 II	1	半期	演習	1・2					
	韓国語 III	1	半期	演習	2・3					
	韓国語 IV	1	半期	演習	2・3					
	日本語 I	1	半期	演習	1・2					
	日本語 II	1	半期	演習	1・2					
	日本語 III	1	半期	演習	2・3					
	日本語 IV	1	半期	演習	2・3					
地域文化・国際理解科目	地域文化理解 I	2	集中	演習	1・2・3・4					
	地域文化理解 II	2	集中	演習	1・2・3・4					
	地域文化理解 III	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国際理解(海外研修) I	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国際理解(海外研修) II	2	集中	演習	1・2・3・4					
最低履修単位数						7	16	15	38	

1 人間関係学部 人間福祉学科 全学共通科目

(令和7年度入学生から適用)

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考	
						人間福祉学科				
						必修	選択必修	選択		
基礎科目	I 女性とキャンパスライフ 大妻教養講座Ⅰ	1	半期	講義	1	□ 1				
	大妻教養講座Ⅱ 卒業生から学ぶ	1	半期	講義	2					
	キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2・3・4					
	女性と健康	2	半期	講義	1・2・3・4					
	ジエンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2・3・4					
	女性史	2	半期	講義	1・2・3・4					
	リーダーシップ開発	2	半期	演習	2・3・4					
	日本語A(文章表現)	2	半期	講義	1					
	日本語B(口頭表現)	2	半期	講義	1・2					
	日本語C(読解)	2	半期	講義	1					
教養科目	情報基礎PC(情報活用・PC操作)	2	半期	演習	1					
	情報基礎DS(表計算活用・データリテラシー)	2	半期	演習	1					
	データサイエンス・AI概論	2	半期	講義	1					
	A I 活用	2	半期	演習	2・3・4					
	III キャリア キャリアデザインⅠ	2	半期	講義	1・2					
	キャリアデザインⅡ	2	半期	講義	2・3					
	キャリアデザインⅢ	2	半期	講義	3・4					
	キャリア・ディベロップメント・プログラムⅠ	2	半期	演習	1・2・3・4					
	キャリア・ディベロップメント・プログラムⅡ	2	半期	演習	2・3・4					
	I 人間と文化 文学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4					
教養科目	音楽の世界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	美術の世界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	映像・演劇の世界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	考古学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	ポピュラー・カルチャーの世界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	地域と文化	2	半期	講義	1・2・3・4					
	言語と文化	2	半期	講義	1・2・3・4					
	日本の歴史と文化	2	半期	講義	1・2・3・4					
	世界の歴史と文化	2	半期	講義	1・2・3・4					
	哲学と思想	2	半期	講義	1・2・3・4					
教養科目	日本文化・事情	2	半期	講義	1・2・3・4					
	子どもの世界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	人間の成長と心理	2	半期	講義	1・2・3・4					
	日本国憲法	2	半期	講義	1・2・3・4					
	法律と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	政治と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	経済と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	メディアと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	家族と現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	福祉と現代社会(ボランティアを含む)	2	半期	講義	1・2・3・4					
教養科目	SDGsと現代社会	2	半期	講義	1・2・3・4					
	III 自然と科学 数学の世界	2	半期	講義	1・2・3・4					
	生活の物理	2	半期	講義	1・2・3・4					
	生活の化学	2	半期	講義	1・2・3・4					
	科学と環境	2	半期	講義	1・2・3・4					
	命の科学	2	半期	講義	1・2・3・4					
	宇宙の科学	2	半期	講義	1・2・3・4					
	人類の進化	2	半期	講義	1・2・3・4					
	自然科学の歴史	2	半期	講義	1・2・3・4					
	IV スポーツ スポーツA	1	半期	実技	1・2・3・4					
教養科目	スポーツB	1	半期	実技	1・2・3・4					
	スポーツC	1	半期	実技	1・2・3・4					
	スポーツD	1	半期	実技	1・2・3・4					
	シーズン・スポーツ	1	半期 (一授業中)	実技	1・2・3・4					
	スポーツと健康	2	半期	講義	1・2・3・4					
	レクリエーション論	2	半期	講義	1・2・3・4					
	レクリエーション実技	1	半期	実技	1・2・3・4					

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考	
						人間福祉学科				
						必修	選択必修	選択		
外国語科目	英語 I A	1	半期	演習	1	6			千代田キャンパスのみ開講	
	英語 I B	1	半期	演習	1					
	英語 I C	1	半期	演習	1					
	英語 I D	1	半期	演習	1					
	英語 II A	1	半期	演習	2					
	英語 II B	1	半期	演習	2					
	英語 II C	1	半期	演習	2					
	英語 II D	1	半期	演習	2					
	英語 III A	1	半期	演習	2					
	英語 III B	1	半期	演習	2					
	フランス語 I	1	半期	演習	1・2					
	フランス語 II	1	半期	演習	1・2					
	フランス語 III	1	半期	演習	2・3					
	フランス語 IV	1	半期	演習	2・3					
	ドイツ語 I	1	半期	演習	1・2					
	ドイツ語 II	1	半期	演習	1・2					
	ドイツ語 III	1	半期	演習	2・3					
	ドイツ語 IV	1	半期	演習	2・3					
	スペイン語 I	1	半期	演習	1・2					
	スペイン語 II	1	半期	演習	1・2					
	スペイン語 III	1	半期	演習	2・3					
	スペイン語 IV	1	半期	演習	2・3					
	ロシア語 I	1	半期	演習	1・2	7	13	6	外国人留学生対象	
	ロシア語 II	1	半期	演習	1・2					
	ロシア語 III	1	半期	演習	2・3					
	ロシア語 IV	1	半期	演習	2・3					
地域文化・国際理解科目	中国語 I	1	半期	演習	1・2	7	13	6	外国人留学生対象	
	中国語 II	1	半期	演習	1・2					
	中国語 III	1	半期	演習	2・3					
	中国語 IV	1	半期	演習	2・3					
	韓国語 I	1	半期	演習	1・2	7	13	6	外国人留学生対象	
	韓国語 II	1	半期	演習	1・2					
	韓国語 III	1	半期	演習	2・3					
	韓国語 IV	1	半期	演習	2・3					
	日本語 I	1	半期	演習	1・2	7	13	6	外国人留学生対象	
	日本語 II	1	半期	演習	1・2					
	日本語 III	1	半期	演習	2・3					
	日本語 IV	1	半期	演習	2・3					
地域文化・国際理解科目	地域文化理解 I	2	集中	演習	1・2・3・4	7	13	6		
	地域文化理解 II	2	集中	演習	1・2・3・4					
	地域文化理解 III	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国際理解(海外研修) I	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国際理解(海外研修) II	2	集中	演習	1・2・3・4					
	国際理解(海外研修) III	2	集中	演習	1・2・3・4					
最低履修単位数						7	13	6		
						26				

大学等名	大妻女子大学		申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	大妻データサイエンス・AIプログラム		申請年度	令和 6 年度

プログラムの目的

データサイエンスとは、現代社会のあらゆる分野で蓄積されているさまざまなデータを収集・分析し、有効に活用する学問です。変化を続ける現代社会では、自らが研究したい専門分野の知識に加えて、データ処理能力や分析力を身につけた人材が求められています。

「大妻データサイエンス・AIプログラム」は、数理・データサイエンス・AIの基礎的な知識・技術について学び、データ分析において重要な概念を身につけ、身近な問題解決に活かすスキルを持つ人材を育成することを目的とした教育プログラムです。

このプログラムの修了者には、数理・データサイエンス・AIの基礎的な知識・技術について学び、身につけた者として、オープンバッジ（デジタル修了証）を授与しています。



オープンバッジ

身に付けられる能力

- ・データサイエンスやAIが身近にあるさまざまな事象とどのように関係しているかを学び、それらを活用することの楽しさや学ぶ意義について理解する。
- ・データサイエンスやAIを活用する上での留意事項や情報セキュリティ、情報漏洩等、データを守る上で留意すべき事項について理解する。
- ・社会における実データを含む多くのデータから、必要とする情報を抽出するスキルを身につける。
- ・抽出結果を読み解き、それら情報の関係を分析、考察し表現できる力を身につける。

開講されている科目的構成

学部・学科・専攻	科 目
家政学部・文学部・人間関係学部・比較文化学部	「情報基礎DS（表計算活用・データリテラシー）」（2単位）と「データサイエンス・AI概論」（2単位）
社会情報学部	「情報処理実習A」（2単位）と「データサイエンス・AI概論」（2単位）
データサイエンス学部	「コンピュータの基礎」（2単位）と「データサイエンス・AI概論」（2単位）

修了要件

上記に示された表のとおり、所属する学部や専攻の別により、それぞれ指定された合計2科目4単位を修得することでプログラムの修了となります。

実施体制

運営責任者：情報リテラシー教育検討部会長
 プログラムを改善・進化させるための体制：情報リテラシー教育検討部会
 プログラムの自己点検・評価を行う体制：情報リテラシー教育検討部会

